# 取扱説明書

## EB-W10
## EB-X10
## EB-S10

# マニュアル中の表示の意味

- **安全に関する表示**

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。 内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ **注意** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

- **一般情報に関する表示**

| | |
|---|---|
| **注意** | 本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。 |
| (電球マーク) | 関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。 |
| ☛ | 関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。 |
| ▸▸ | マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 ☛ p.95 |
| **操作** | 操作方法や作業の順番を示しています。<br>番号順に操作して目的の作業を行ってください。 |
| [ (表記名) ] | リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。<br>例： [戻る]ボタン |
| 「(メニュー名)」<br>**明るさ**(太字の表記) | 環境設定メニューの項目を示しています。<br>例：<br>**画質調整メニュー - 「明るさ」を選びます。**<br>**画質調整**メニュー - **明るさ** |

## 環境設定メニュー



## 困ったときに



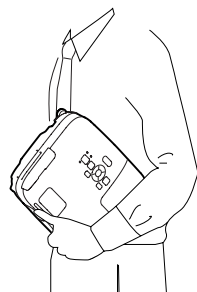
## 付　録

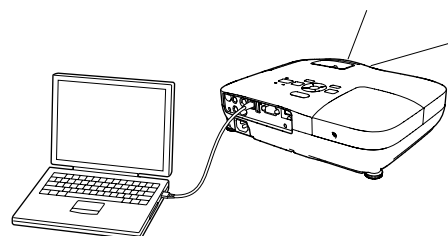
# はじめに

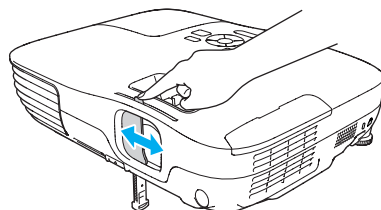
ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

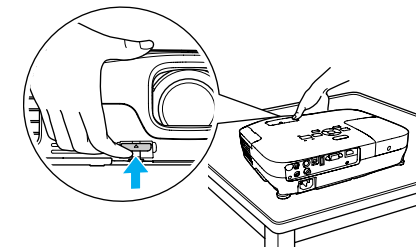
## 使いやすさをコンパクトに

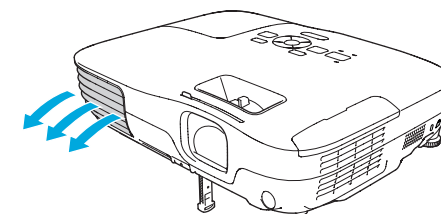
### 小型で軽量

軽量なコンパクトボディで持ち運びが簡単です。

### USBケーブルで接続して投写(USBディスプレー)

USBケーブルでコンピューターと本機を接続するだけで、コンピューター画面を投写できます。Windows、Mac OSの双方でご利用いただけます。
 p.17

### 投写や収納が簡単なスライド式レンズカバー

レンズカバーを開閉して投写の中断・再開が簡単にできるため、メリハリのあるプレゼンテーションが行えます。

### 面倒な本体の水平調整が不要な単脚デザイン

片手で簡単に高さ調整ができます。
☛『セットアップガイド』

### 前面排気で快適利用

排気を前面から行いますので、排気風が気にならず、快適にご利用いただけます。

### ダイレクトにパワーオン/オフ

会議室など電源を集中管理している部屋でも管理元の主電源を入れる/切るして本機の電源をオン/オフすることができます。

### クールダウン不要ですばやい片付け

使用後、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

## 充実したセキュリティー機能

### 利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

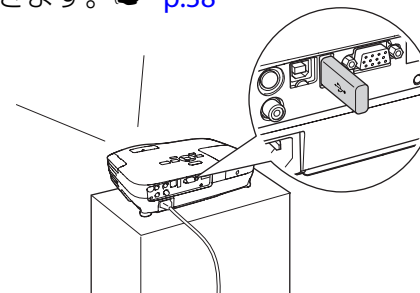
パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。☛ p.34

### 操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

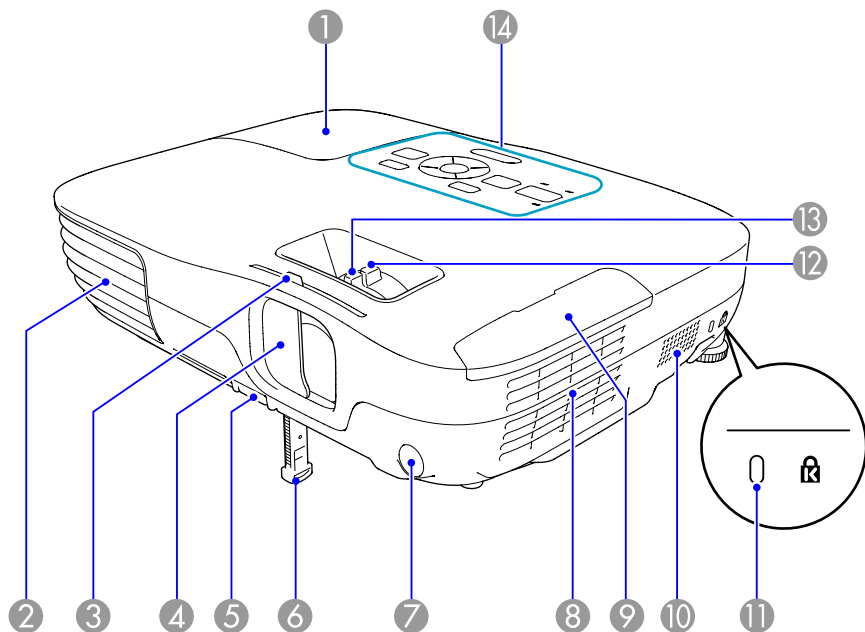
イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。☛ p.36

## EB-W10/X10の特長

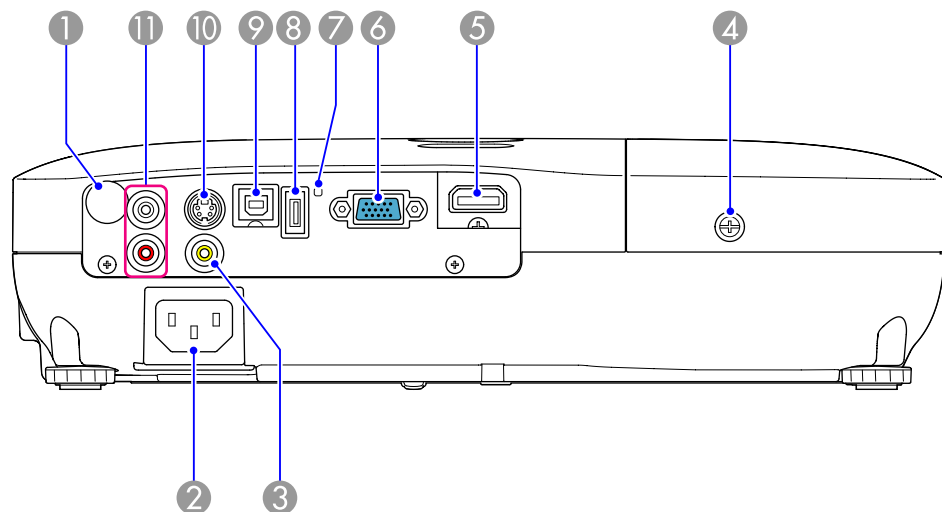
### コンピューターを使わずにUSBストレージやデジタルカメラ内のJPEG画像を投写

USBストレージやデジタルカメラをプロジェクターに接続して、デジタルカメラで撮影した写真などのJPEG画像を、スライドショーとして投写できます。投写するのにコンピューターを接続する必要がなく、手軽に投写できます。☛ p.38

### 映画やビデオの鑑賞など幅広い用途に使えるHDMI端子を搭載

コンピューターはもちろん、DVDプレイヤーやブルーレイディスク、ゲーム機など、各種のデジタルRGB機器をHDMI端子に接続して、高品質の映像や音楽を投写できます。

## 前面/上面

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | **ランプカバー** | ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。☛ p.71 |
| ❷ | **排気口** | 本機内部を空冷した空気の吐き出し口です。<br>**⚠ 注意**<br>投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。 |

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❸ | **スライド式レンズカバー操作部** | ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。 |
| ❹ | **スライド式レンズカバー** | 本機を使用しないときに閉じ、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます(A/Vミュート)。☛ p.24 |
| ❺ | **フットレバー** | フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。☛『セットアップガイド』 |
| ❻ | **フロントフット** | 机上に設置したとき、本機を傾けて映像の位置を上に調整するときに伸ばします。☛『セットアップガイド』 |
| ❼ | **リモコン受光部** | リモコン信号を受信します。☛『セットアップガイド』 |
| ❽ | **エアフィルター(吸気口)** | 本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアフィルターは定期的に清掃してください。☛ p.69, p.74 |
| ❾ | **エアフィルターカバー** | エアフィルターを交換するときに開閉します。☛ p.74 |
| ❿ | **スピーカー** | |
| ⓫ | **セキュリティースロット** | Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。☛ p.37 |
| ⓬ | **ズームリング(EB-W10/X10のみ)** | 映像のサイズを調整します。☛『セットアップガイド』 |
| ⓭ | **フォーカスリング** | 映像のピントを合わせます。☛『セットアップガイド』 |
| ⓮ | **操作パネル** | ☛「操作パネル(EB-W10/X10)」p.12<br>☛「操作パネル(EB-S10)」p.13 |

## 背面(EB-W10/X10)

➊ ⓫ ⓾ ➒ ➑ ➐ ➏ ➎ ➍
➋ ➌

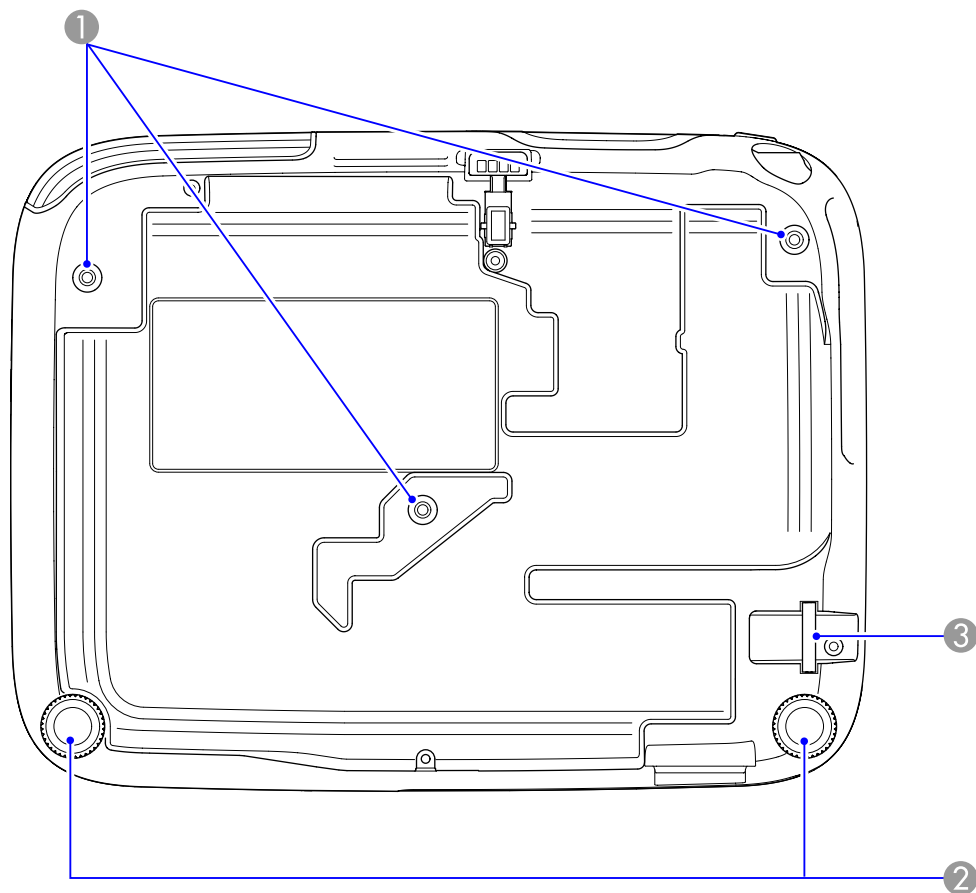
| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ➊ | **リモコン受光部** | リモコン信号を受信します。☛『セットアップガイド』 |
| ➋ | **電源端子** | 電源ケーブルを接続します。☛『セットアップガイド』 |
| ➌ | **ビデオ入力端子** | ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。 |
| ➍ | **ランプカバー固定ネジ** | ランプカバーを固定するネジです。☛ p.71 |
| ➎ | **HDMI入力端子** | HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▸▸に対応しています。 |
| ➏ | **コンピューター入力端子** | コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。 |

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ➐ | **USBインジケーター** | USB(TypeA)端子に接続しているUSB機器の状態を以下のようにお知らせします。<br>消灯：USB機器未接続<br>オレンジ点灯：USB機器接続時<br>緑点灯：USB機器動作中<br>赤点灯：異常 |
| ➑ | **USB(TypeA)端子** | USBストレージやデジタルカメラを接続し、スライドショーでJPEG画像を投写します。☛ p.38 |
| ➒ | **USB(TypeB)端子** | 同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続すると以下の機能が使えます。<br>• USBディスプレー☛ p.17<br>• ワイヤレスマウス☛ p.32<br>• PowerPointファイルなどのページ送り/戻しの操作☛ p.33<br>• USB通信による本機の監視・制御☛ p.83 |
| ⓾ | **S-ビデオ入力端子** | ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。 |
| ⓫ | **音声入力端子** | 他の機器の音声出力端子と接続して、音声を入力します。☛『セットアップガイド』 |

## 背面(EB-S10)

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | **リモコン受光部** | リモコン信号を受信します。☛『セットアップガイド』 |
| ❷ | **音声入力端子** | 他の機器の音声出力端子と接続して、音声を入力します。☛『セットアップガイド』 |
| ❸ | **電源端子** | 電源ケーブルを接続します。☛『セットアップガイド』 |
| ❹ | **ビデオ入力端子** | ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。 |
| ❺ | **ランプカバー固定ネジ** | ランプカバーを固定するネジです。☛ p.71 |
| ❻ | **コンピューター入力端子** | コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。 |

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❼ | **USB(TypeB)端子** | 同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続すると以下の機能が使えます。<br>• USBディスプレー☛ p.17<br>• ワイヤレスマウス☛ p.32<br>• PowerPointファイルなどのページ送り/戻しの操作 ☛ p.33<br>• USB通信による本機の監視・制御☛ p.83 |
| ❽ | **S-ビデオ入力端子** | ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。 |
| ❾ | **音声出力端子** | 現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.82 |

## 底面

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | **天吊り固定部**<br>**(3箇所)** | 天井から吊り下げて使うとき、オプション品の天吊り金具を取り付けます。☛ p.68, p.76 |
| ❷ | **リアフット** | 机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。☛『セットアップガイド』 |
| ❸ | **セキュリティーケーブル取付け部** | 市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。☛ p.37 |

## 操作パネル(EB-W10/X10)

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | **[⏻]ボタン** | 電源をオン/オフします。☛『セットアップガイド』 |
| ❷ | **状態インジケーター** | 本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☛ p.56 |
| ❸ | **[入力検出]ボタン** | 次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☛ p.21 |
| ❹ | **[決定]ボタン** | コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように**トラッキング**・**同期**・**表示位置**が自動調整されます。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 |

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❺ | [⏢][⏥]ボタン | 台形補正するときに押します。☛『セットアップガイド』<br>ただし、スライドショー(EB-W10/X10のみ)で投写しているときは、[▲][▼]ボタンとしてのみ機能します。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☛ p.45 |
| ❻ | [ヘルプ]ボタン | トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☛ p.55 |
| ❼ | [戻る]ボタン | 実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☛p.45 |
| ❽ | [🔉][🔊]ボタン | 音量を調整するときに押します。☛『セットアップガイド』<br>ただし、スライドショー(EB-W10/X10のみ)で投写しているときは、[◀][▶]ボタンとしてのみ機能します。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☛ p.45 |
| ❾ | [メニュー]ボタン | 環境設定メニューを表示/終了します。☛ p.45 |

## 操作パネル(EB-S10)

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | [⏻]ボタン | 電源をオン/オフします。☛『セットアップガイド』 |
| ❷ | 状態インジケーター | 本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☛ p.56 |
| ❸ | [入力検出]ボタン | 次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☛ p.21 |
| ❹ | [決定]ボタン | コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように**トラッキング**・**同期**・**表示位置**が自動調整されます。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 |
| ❺ | [⏢][⏥]ボタン | 台形補正するときに押します。☛『セットアップガイド』<br>環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☛ p.45 |

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❻ | [ヘルプ]ボタン | トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛ p.55 |
| ❼ | [戻る]ボタン | 実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛ p.45 |
| ❽ | [テレ][ワイド]ボタン | 投写画面のサイズを調整するときに押します。[テレ]ボタンを押すと投写画面のサイズが小さくなり、[ワイド]ボタンを押すと、大きくなります。 ☛『セットアップガイド』<br>環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛ p.45 |
| ❾ | [メニュー]ボタン | 環境設定メニューを表示/終了します。 ☛ p.45 |

## リモコン

| | 名称 | 働き |
|---|---|---|
| ❶ | [⏻]ボタン | 本機の電源をオン/オフします。☛『セットアップガイド』 |
| ❷ | [コンピューター]ボタン | コンピューター入力端子からの映像に切り替えます。☛ p.22 |
| ❸ | [ビデオ]ボタン | 押すたびに、S-ビデオ入力端子、ビデオ入力端子、HDMI入力端子(EB-W10/X10のみ)からの映像に切り替えます。☛ p.22 |
| ❹ | [USB]ボタン | 押すたびに、USBディスプレーの映像、スライドショーの映像(EB-W10/X10のみ)に切り替えます。☛ p.22 |
| ❺ | [A/Vミュート]ボタン | 映像と音声を一時的に消去/解除します。☛ p.24 |
| ❻ | [アスペクト]ボタン | 押すたびに、アスペクト比が切り替わります。☛ p.25 |
| ❼ | [自動調整]ボタン | コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように**トラッキング**・**同期**・**表示位置**が自動調整されます。 |
| ❽ | [ページ]ボタン<br>(送り)(戻し) | • 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続しているときにこのボタンを押すと、ページ送り/戻しの操作ができます。☛ p.33<br>• スライドショーで投写しているときに、このボタンを押すと画面の切り替えを行えます。(EB-W10/X10のみ)☛ p.41 |
| ❾ | [Eズーム]ボタン<br>(⊕)(⊖) | (⊕)投写サイズを変えずに映像を拡大します。<br>(⊖)[⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。☛ p.31 |
| ❿ | [メニュー]ボタン | 環境設定メニューを表示/終了します。☛ p.45 |
| ⓫ | [▲][▼]<br>[◀][▶]ボタン | 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。☛ p.45<br>ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。☛ p.32 |
| ⓬ | [決定]ボタン | 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☛ p.45<br>ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。☛ p.32 |
| ⓭ | [戻る]ボタン | 実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☛ p.45<br>ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。☛ p.32 |
| ⓮ | [音量]ボタン(🔉)(🔊) | (🔉)音量を下げます。<br>(🔊)音量を上げます。<br>☛『セットアップガイド』 |
| ⓯ | [ヘルプ]ボタン | トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☛ p.55 |
| ⓰ | [ポインター]ボタン | 投写中の映像をポインターで指し示すときに押します。☛ p.30 |
| ⓱ | [数字]ボタン | パスワードを入力するときに使います。☛ p.34 |
| ⓲ | [カラーモード]ボタン | 押すたびにカラーモードが切り替わります。☛ p.23 |
| ⓳ | [ユーザー]ボタン | 環境設定メニューの項目のうち良く使われる4項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。初期設定では**明るさ切替**が割り当てられています。☛ p.49 |
| ⓴ | [静止]ボタン | 映像を一時停止/解除します。☛ p.25 |
| ㉑ | テンキーボタン | パスワードを入力するときに使います。☛ p.34 |
| ㉒ | [入力検出]ボタン | 次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☛ p.21 |
| ㉓ | リモコン発光部 | リモコン信号を出力します。 |

# 便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレーと呼びます。USB ケーブルで接続するだけですぐにコンピューターの映像を投写できます。

## 動作環境

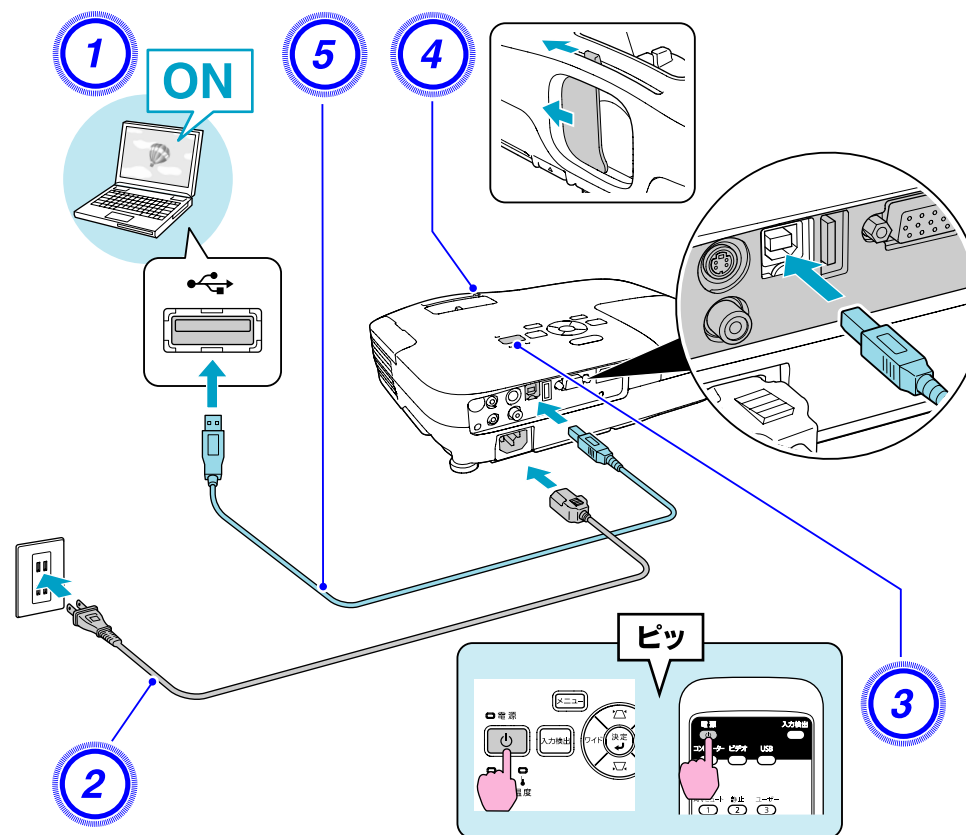
### Windowsの場合

| OS※ | Windows 2000 Service Pack4<br>Windows XP Service Pack2以降<br>Windows Vista<br>Windows Vista Service Pack1以降<br>Windows 7 |
|---|---|
| CPU | Mobile Pentium III 1.2GHz以上<br>推奨：Pentium M 1.6GHz以上 |
| メモリー容量 | 256MB以上<br>推奨：512MB以上 |
| ハードディスク空き容量 | 20MB以上 |
| ディスプレー | 640x480 以上、1600x1200 以下の解像度<br>16ビットカラー以上の表示色 |

※ 32bit版のみ対応しています。

### Mac OSの場合

| OS | Mac OS X 10.5.1以上<br>Mac OS X 10.6.x |
|---|---|
| CPU | Power PC G4 1GHz以上<br>推奨：Intel Core Duo 1.83GHz以上 |
| メモリー容量 | 512MB以上 |
| ハードディスク空き容量 | 20MB以上 |
| ディスプレー | 640x480以上、1680x1200以下の解像度<br>16ビットカラー以上の表示色 |

## 接続のしかた

**操作**

1. **コンピューターの電源を入れます。**
2. **電源ケーブル(同梱品)を接続します。**
3. **本機の電源を入れます。**
4. **レンズカバーを開けます。**
5. **USBケーブルを接続します。**
**音声を本機のスピーカーから出力するときはオーディオケーブル(市販品)を音声入力端子に接続します。**☛ 『セットアップガイド』

☛「初めて接続したとき」p.18
☛「2 回目以降」p.20

> **注意**
> USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機に接続してください。

## 初めて接続したとき

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとMac OSで手順が異なります。

**操作**

**Windowsの場合**

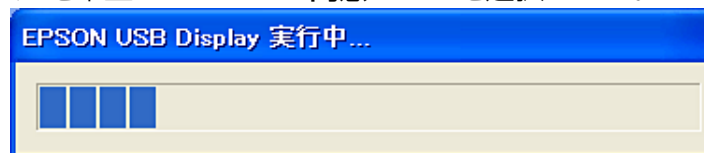
1. **自動的にドライバーのインストールが開始します。**

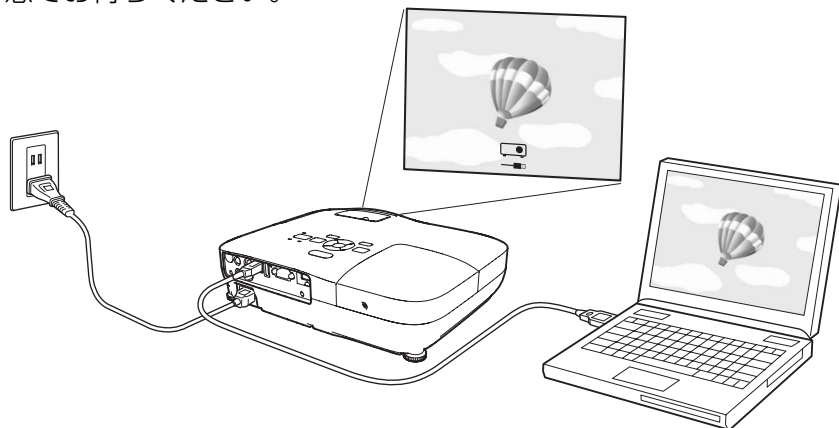
Windows 2000搭載のコンピューターをお使いのときは、コンピューターで**マイコンピュータ** - **EPSON_PJ_UD** - **EMP_UDSE.EXE** をダブルクリックしてください。

Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、インストール時にWindowsのエラーメッセージが表示されインストールできないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。

詳細は、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。☛ 『お問い合わせ先』

2. **「同意する」を選択します。**

ドライバーをインストールしないと、USBディスプレーを実行できません。必ず**同意する**を選択してください。万一、インストールを中止したいときは**同意しない**を選択します。

**3** **コンピューターの映像が投写されます。**

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

**4** **終了するときはUSBケーブルを取り外します。**

USBケーブルを取り外すときは、**ハードウェアの安全な取り外し**は必要ありません。

- 自動的にインストールされないときにはコンピューターで**マイコンピュータ** - **EPSON_PJ_UD** - **EMP_UDSE.EXE**をダブルクリックします。
- 万一、投写されないときにはコンピューターで**すべてのプログラム** - **EPSON Projector** - **EPSON USB Display** - **EPSON USB Display Vx.x** をクリックします。

次回接続時は☛「2 回目以降」p.20をご覧ください。

**Mac OSの場合**

**1** **FinderにUSBディスプレーのセットアップフォルダーが表示されます。**

**2** **「USB Display Installer」アイコンをダブルクリックします。**

管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。

**3** **画面の指示に従って、インストールを進めます。**

**4** **使用許諾画面が表示されたら、「同意する」を選択します。**

**同意する**を選択しないと、USBディスプレーを実行できません。投写を中止するときは**同意しない**を選択します。

インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディスプレーのアイコンが表示されます。

**5** **コンピューターの映像が投写されます。**

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

**6** **終了するときはUSBケーブルを取り外します。**

メニューバーのアイコン、またはDockアイコンをクリックして表示されるメニューの**切断**を実行し、その後にUSBケーブルを抜いてください。

- FinderにUSBディスプレーのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピューターで**EPSON PJ_UD - USB Display Installer**をダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの**USBディスプレー** アイコンをクリックします。
- Dockに**USBディスプレー** アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの**USB Display**を実行します。
- Dockアイコンからのメニューの中にある**終了**を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレーが自動起動しなくなります。

### 2 回目以降

**コンピューターの映像が投写されます。**

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままの状態でお待ちください。

## アンインストール

**Windowsの場合**

コンピューターの**コントロールパネル** - **プログラムの追加と削除** - **EPSON USB Display**を削除します。

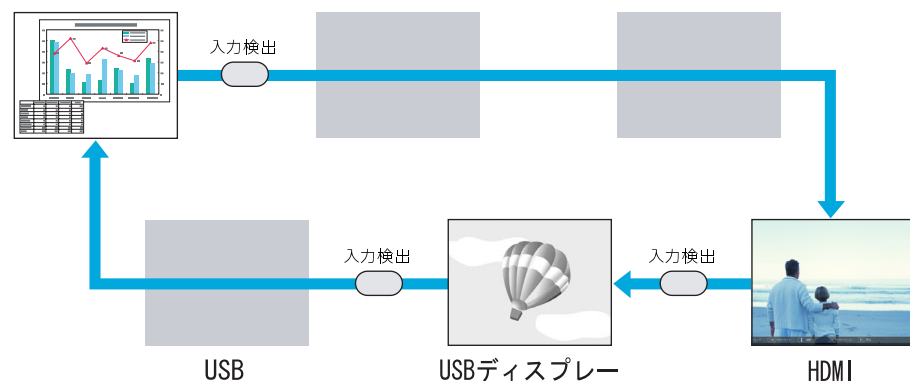
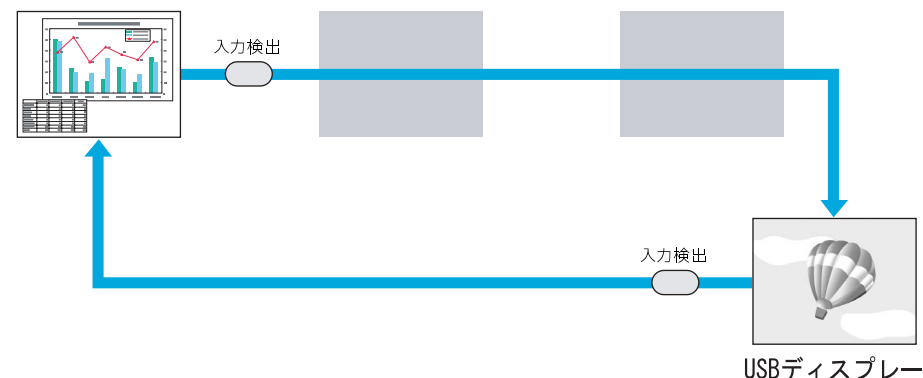
**Mac OSの場合**

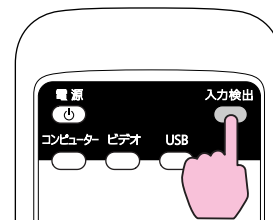
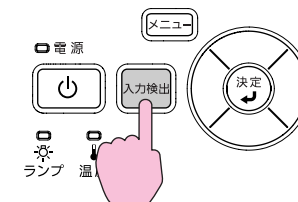
アプリケーションフォルダーのToolフォルダー内の**USB Display UnInstaller**を実行します。

投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
  本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。
- ダイレクトに目的の映像に切り替える
  リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

## 入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

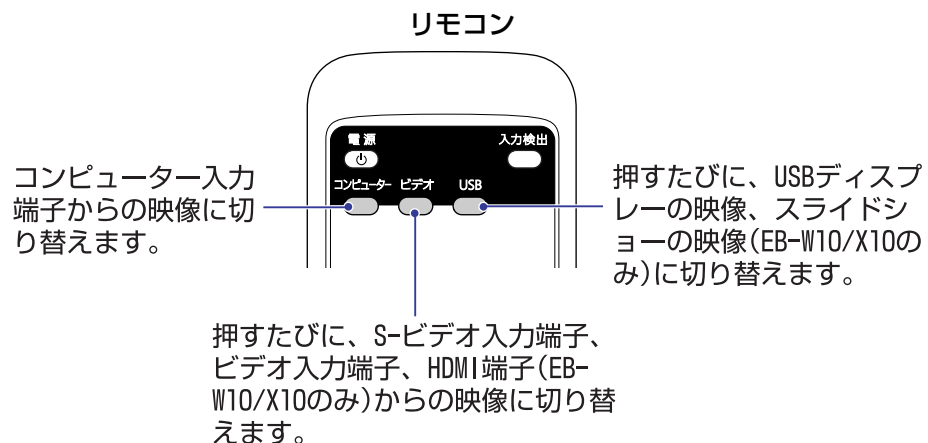
[入力検出]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。

### 操作

**ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。**

複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンを繰り返し押します。

現在投写されている映像信号しか入力されていない場合や映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。

例：EB-W10/X10の場合

## リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

## 映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

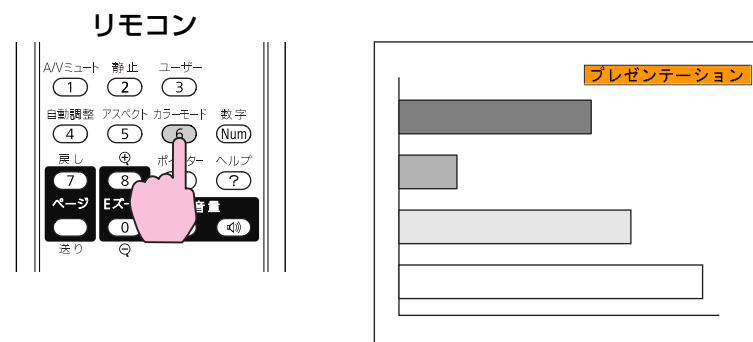
投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

| モード名 | 使い方 |
|---|---|
| ダイナミック | 明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。 |
| プレゼンテーション | 明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。 |
| シアター | 暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。 |
| フォト※1 | 明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。 |
| スポーツ※2 | 明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。 |
| sRGB | sRGBに準拠した映像になります。 |
| 黒板 | 黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。 |
| ホワイトボード | ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。 |

※1 RGB信号入力時と入力ソースがUSBディスプレー、USB(EB-W10/X10のみ)のときのみ選択できます。

※2 コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ信号入力時のみ選択できます。

**操作**

リモコン

ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。

環境設定メニューの**画質調整**メニュー - **カラーモード**からも設定できます。☛ p.46

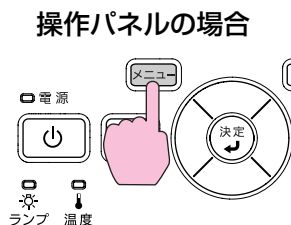
## オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

**操作**

1. **[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから画質調整メニュー - 「オートアイリス」を選びます。** ☛ 「環境設定メニューの操作」 p.45

リモコンの場合

操作パネルの場合

2. **「オン」を選択します。**

設定値はカラーモードごとに保存されます。

3. **[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。**

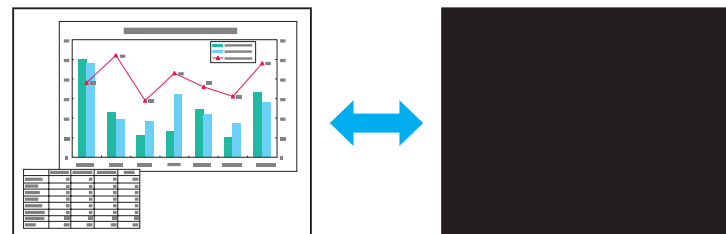
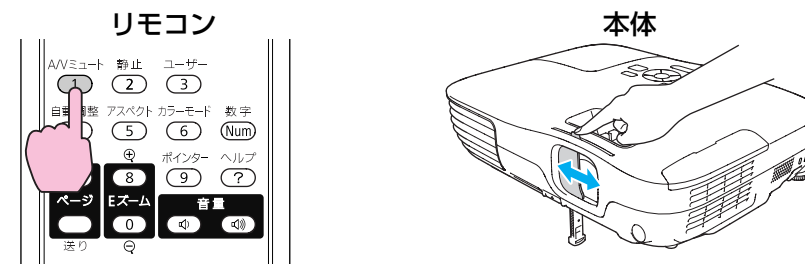
**カラーモード**が**ダイナミック**または**シアター**に設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。

## 映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。

**操作**

リモコン

本体

ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- リモコンで操作したときのA/Vミュート中の表示状態は**拡張設定メニュー** - **表示設定** - **A/Vミュート**で黒、青、ロゴの中から選ぶことができます。☛ p.50
- レンズカバーを閉じた状態が約30分続くとレンズカバータイマーが機能し、自動的に電源がオフになります。レンズカバータイマーを機能させたくないときは**拡張設定メニュー** - **動作設定**-**レンズカバータイマー**の設定をオフに変更します。☛ p.50

## 映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

**操作**

リモコン

ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

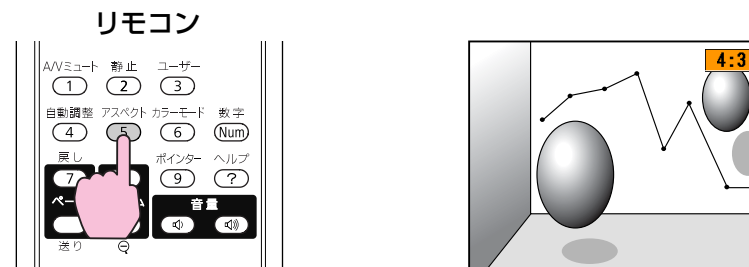
## アスペクト比を切り替える

ビデオ機器を接続し、デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写するときはアスペクト比を切り替えます。コンピューター映像を投写サイズいっぱいに投写するときなどもアスペクト比を切り替えます。

切り替え方法とアスペクトモードの種類は次のとおりです。

### 切り替え方法

**操作**

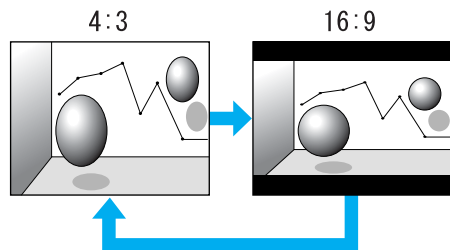
リモコン

ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

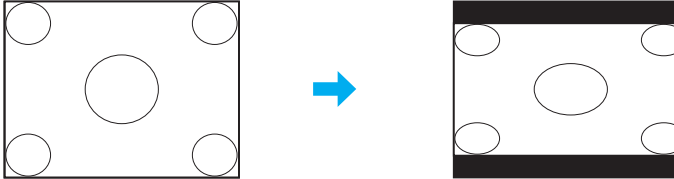
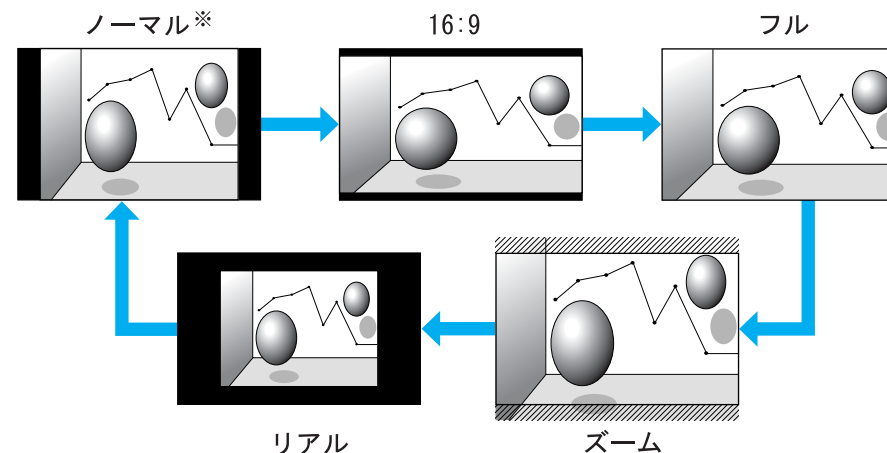
アスペクトモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。

環境設定メニューの**映像**メニュー - **アスペクト**からも設定できます。☛ p.47

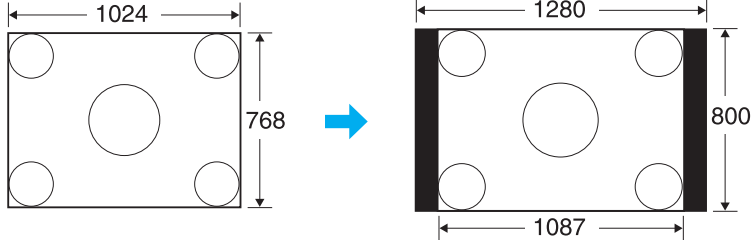
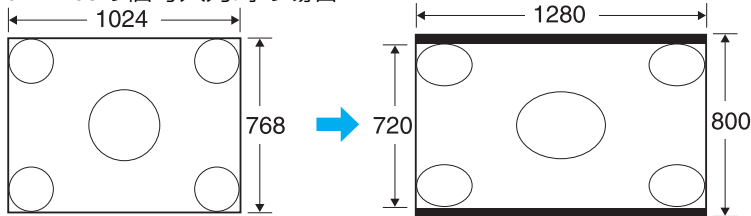
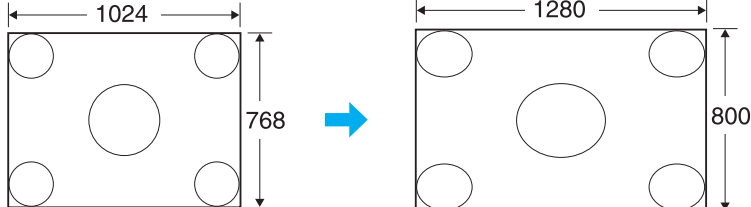
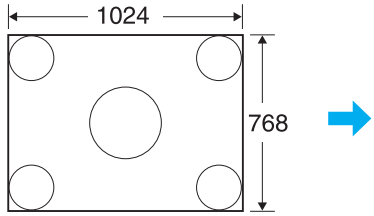
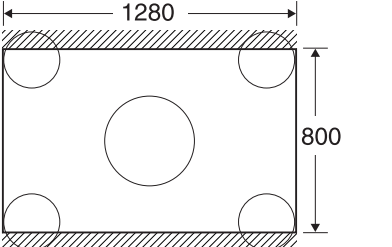
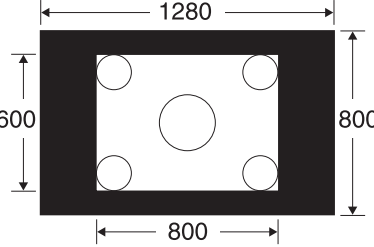
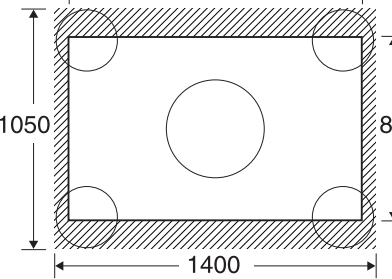
## ビデオ機器の映像のアスペクト比を切り替える

### EB-X10/S10の場合

ボタンを押すたびに、**4:3**と**16:9**が切り替わります。

HDMI入力端子からの信号入力時は、**オート**、**4:3**、**16:9**の順で切り替わります。**オート**に設定すると入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で表示されます。(EB-X10のみ)

### EB-W10の場合

ボタンを押すたびに、**ノーマル**※、**16:9**、**フル**、**ズーム**、**リアル**の順で切り替わります。

※ HDMI入力端子からの信号入力時は、**オート**が表示されます。**オート**を選択すると、入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で表示されます。

## コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-X10/S10の場合)

コンピューターからの映像投写時は、以下のようにアスペクト比を切り替えられます。

| アスペクトモード | 動作 | 投写例 |
|---|---|---|
| **ノーマル**<br>入力ソースがコンピューターのときに表示されます。 | 入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。 | |
| **オート(EB-X10のみ)**<br>入力ソースが**HDMI**のときに限り表示されます。 | 入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。 | |
| **4:3** | 4:3のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。アスペクト比が5:4(1280x1024など)の映像を投写サイズいっぱいに投写したいときなどに適しています。 | 1280x1024の信号入力時の場合<br>ノーマル → 4 : 3 |
| **16:9** | 16:9のアスペクト比で投写します。16:9のスクリーン使用時に、スクリーンいっぱいに投写したいときに適しています。 | 1280x1024の信号入力時の場合 |

投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの**入力解像度**をお使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。☛ p.47

## コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-W10の場合)

以下のようにアスペクト比を切り替えられます。EB-W10はパネル解像度がWXGAのため投写サイズは1280x800ドット(アスペクト比16:10)です。16:9のスクリーンに投写するときは、アスペクトモードを**16:9**に設定してください。

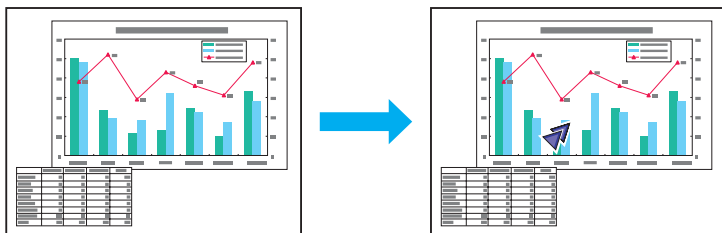
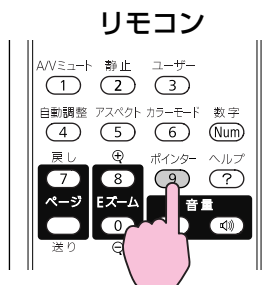
| アスペクトモード | 動作 | 投写例 |
|---|---|---|
| **ノーマル** | 入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。 | 1024x768の信号入力時の場合<br>1024 768 → 1280 800 1087 |
| **オート(EB-W10のみ)**<br>入力ソースが**HDMI**のときに限り表示されます。 | 入力信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。 | |
| **16:9** | 16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。 | 1024x768の信号入力時の場合<br>1024 768 → 1280 720 800 |
| **フル** | 投写サイズいっぱいになるように投写します。 | 1024x768の信号入力時の場合<br>1024 768 → 1280 800 |

| アスペクトモード | 動作 | 投写例 |
|---|---|---|
| **ズーム** | 入力した映像のアスペクト比のまま横方向が投写サイズいっぱいになるように投写します。投写サイズをはみ出した分は投写されません。 | 1024x768の信号入力時の場合<br>1024 / 768 → 1280 / 800 |
| **リアル** | 入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。<br>映像の解像度が1280x800を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。 | 800x600の信号入力時<br>1280 / 600 / 800 / 800<br>1400x1050の信号入力時<br>1280 / 1050 / 800 / 1400 |

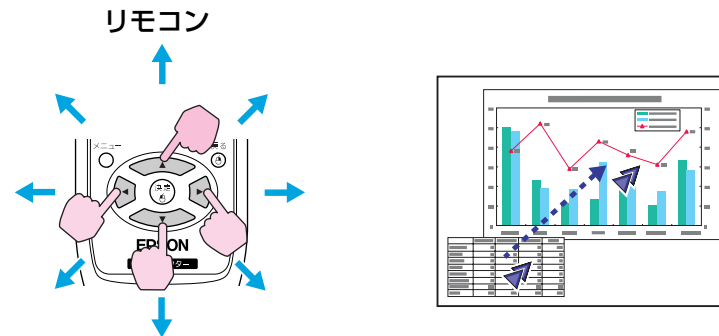
投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの**入力解像度**をお使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。☛ p.47

## 説明箇所を指し示す(ポインター)

ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。

**操作**

① **ポインターを表示します。**

リモコン

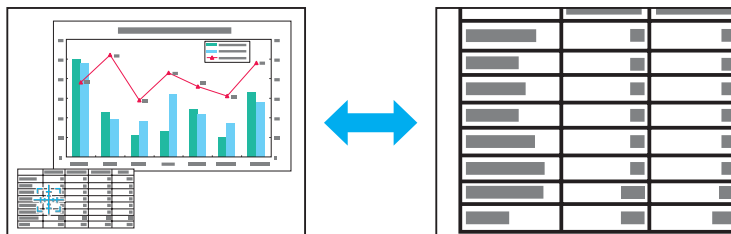
ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

② **ポインターアイコン( )を移動します。**

リモコン

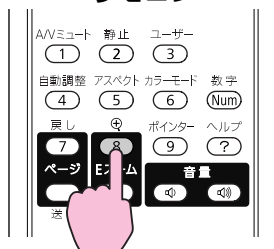
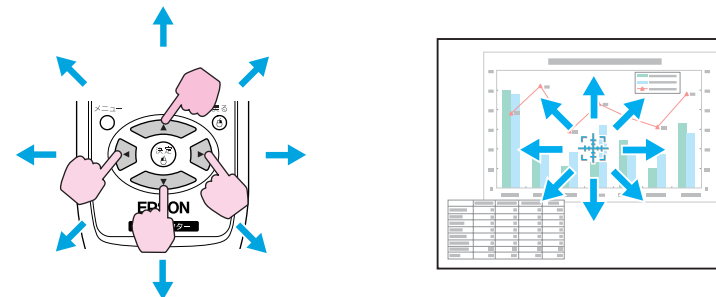
隣り合う[▲][▼][◀][▶]ボタンを組み合わせて押すと斜め方向にも移動することができます。

環境設定メニューの**設定**メニュー - **ポインター形状**でポインターアイコンの形状を3種類( ・ ・ )から設定できます。
☛ p.49

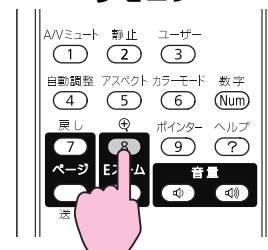
## 映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

**操作**

**1** **Eズームを開始します。**

リモコン

**2** **拡大表示したい部分にターゲットスコープ( )を移動させます。**

リモコン

隣り合う[ ][ ][ ][ ]ボタンを組み合わせて押すと斜め方向にも移動することができます。

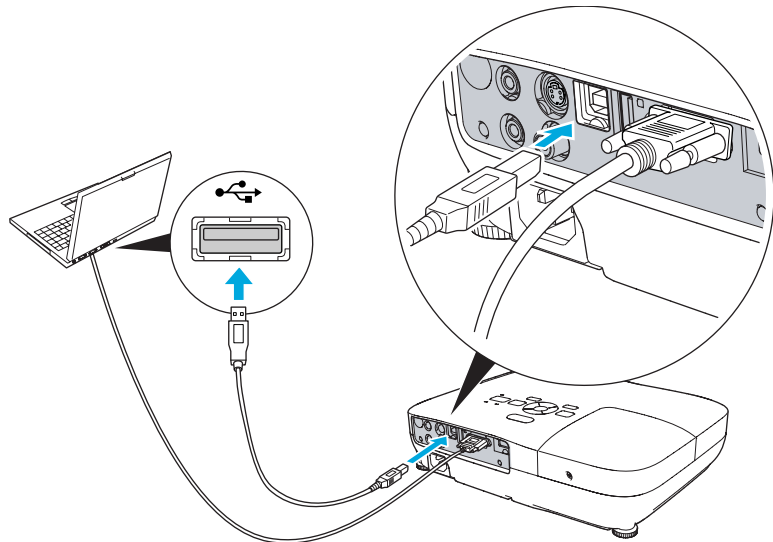
**3** **拡大します。**

ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

[ ]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

解除するには[戻る]ボタンを押します。

- 画面上に倍率が表示されます。 1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- [▲][▼][◀][▶]ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

## リモコンでマウス操作をする

コンピューターのUSB端子と、本機背面のUSB(TypeB)端子をUSBケーブルで接続すると、リモコンでコンピューターのマウスポインターを操作したり(ワイヤレスマウス機能)、ページ送り/戻しの操作を行えます。

ワイヤレスマウス機能とページ送り/戻し機能を同時に使用することはできません。

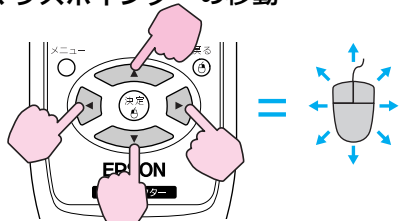
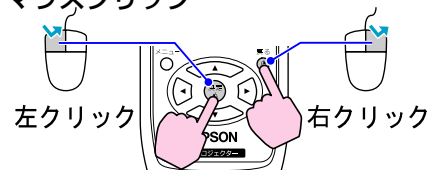
| | Windows | Mac OS |
|---|---|---|
| OS | Windows 98<br>Windows 98SE<br>Windows Me<br>Windows 2000<br>Windows XP<br>Windows Vista<br>Windows 7 | Mac OS X 10.3.x<br>Mac OS X 10.4.x<br>Mac OS X 10.5.x<br>Mac OS X 10.6.x |

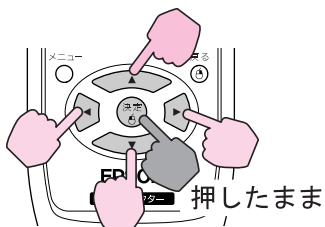
### ワイヤレスマウス

ワイヤレスマウス機能を実行するには、環境設定メニューの**拡張設定**メニュー - **USB TypeB**を**ワイヤレスマウス**に設定します。初期設定では**USB TypeB** はUSBディスプレーに設定されています。事前に設定の変更をしてください。☛ p.50

- ワイヤレスマウス機能は入力ソースが**コンピューター**、**HDMI**(EB-W10/X10のみ)のときのみ使用できます。USBディスプレーで投写中は使用できません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピューター側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

コンピューターと本機をUSBケーブルで接続した後は、マウスポインターを次のように操作できます。

**マウスポインターの移動**

**マウスクリック**

左クリック：[決定]ボタンを押します。
右クリック：[戻る]ボタンを押します。
ダブルクリック：すばやく２回押します。

**ドラッグ＆ドロップ**

① [決定]ボタンを押したまま、[▲][▼][◀][▶]ボタンを押してドラッグします。
② 任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。

- 隣り合う[▲][▼][◀][▶]ボタンを組み合わせて押すと斜め方向にも移動することができます。
- コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 次の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
  ・環境設定メニュー表示中
  ・ヘルプ表示中
  ・Eズーム機能中
  ・ユーザーロゴのキャプチャ中
  ・ポインター機能中
  ・音量調整中
  ・USBディスプレー投写中
  ・テストパターン表示中
  ・カラーモード設定中
  ・カラーモード名表示中
  ・入力ソース名表示中
  ・入力ソース切り替え中

## ページ送り/戻し

リモコンでページ送り/戻しの操作をするには、環境設定メニューの**拡張設定**メニュー - **USB Type B**を**ページ送り/戻し**に設定します。USBディスプレーで投写しているときは、設定を変更することなく、そのままリモコンでページ送り/戻しの操作が行えます。

**ページ送り/戻しの操作例**

PowerPointのスライドショーで、前のスライドを表示/次のスライドを表示

本機には、次の充実したセキュリティー機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
  本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
  本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。☛ p.36
- 盗難防止用ロック
  本機には機器そのものを持ち出されないように、多様な盗難防止の機構が備わっています。☛ p.37

# 利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

## パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の2種類の設定ができます。

1. **電源投入時**
   **電源投入時**を**オン**にすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

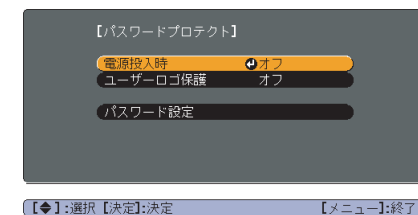
2. **ユーザーロゴ保護**
   せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。**ユーザーロゴ保護**を**オン**にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
   - ユーザーロゴのキャプチャ
   - 環境設定メニューの**表示設定**で**背景表示**、**スタートアップスクリーン**、**A/Vミュート**の設定を変更する。

## パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

**操作**

**本機で投写中に[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。**
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

**リモコン**

- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。
  パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。☛「パスワードの認証」p.35
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

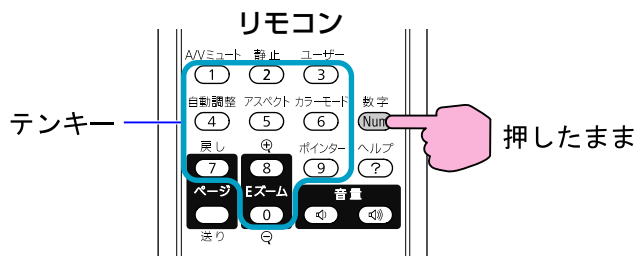
**2** 「電源投入時」を有効にします。

(1) **電源投入時**を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2) **オン**を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3) [戻る]ボタンを押します。

**3** 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

(1) **ユーザーロゴ保護**を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2) **オン**を選択し、[決定]ボタンを押します。
(3) [戻る]ボタンを押します。

**4** パスワードを設定します。

(1) **パスワード設定**を選択し、[決定]ボタンを押します。
(2) **「パスワードを変更しますか？」**と表示されるので、**はい**を選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。**いいえ**を選択すると、手順1の画面に戻ります。
(3) [数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「* * * *」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

(4) 入力したパスワードを再度入力します。
**「パスワード設定が終了しました。」**とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

## パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

**操作**

**[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。**

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

**注意**

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、**「プロジェクターの動作を停止します。」**と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜いたまま約30秒ほどお待ちいただいた後に電源プラグを差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている**問い合わせコード**：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。☛『お問い合わせ先』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。**「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」**☛『お問い合わせ先』

## 操作を制限する(操作ボタンロック)

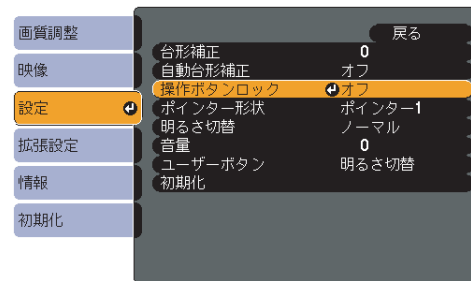
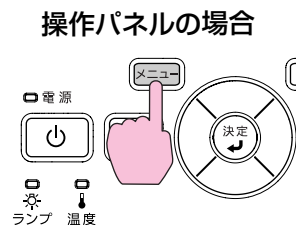
次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。

- 全ロック
  操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
  操作パネルの[⏻]ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写するだけで操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

### 操作

**1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「操作ボタンロック」を選びます。** ☛「環境設定メニューの操作」p.45

**リモコンの場合**

**操作パネルの場合**

**2 「全ロック」か「操作ロック」のどちらかを選択します。**

**3 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。**

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの設定メニュー - 操作ボタンロックをオフに設定します。
- 操作パネルの[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

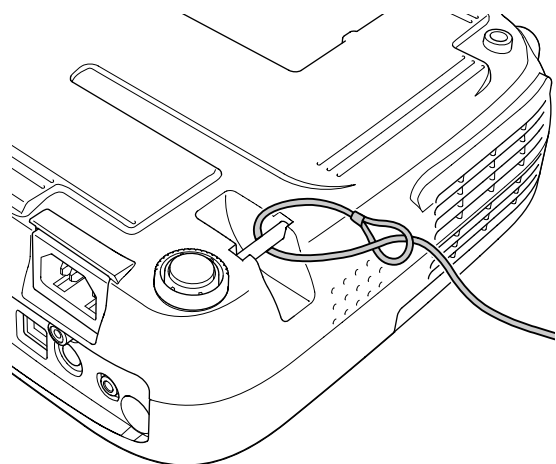
## 盗難防止用ロック

本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されても、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

- セキュリティースロット
  Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。マイクロセーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington のホームページ http://www.kensington.com/でご確認ください。
- セキュリティーケーブル取付け部
  市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

### ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

スライドショーは、USBストレージやデジタルカメラをプロジェクターに接続して、保存されているファイルを直接投写できます。

セキュリティー機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。

## スライドショーで投写できるファイルの仕様

| 種類 | ファイルタイプ(拡張子) | 備考 |
| --- | --- | --- |
| 静止画 | .jpg | 以下の場合は投写できません。<br>• CMYKカラーモード形式<br>• プログレッシブ形式<br>• 解像度が8176x6144を超えるもの<br>• 拡張子が.jpegのファイル<br>JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。 |

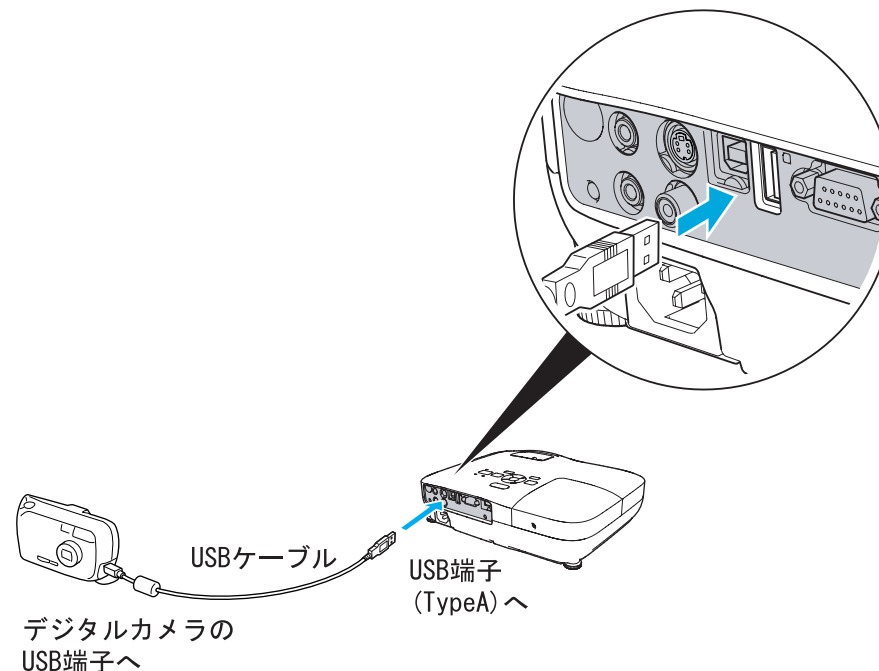
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

## USB機器の接続と取り外し

### USB機器の接続

スライドショーで再生する画像ファイルを保存したUSB機器を本機のUSB(TypeA)端子に接続します。デジタルカメラを接続するときは、同梱、あるいは指定のUSBケーブルを使って接続します。

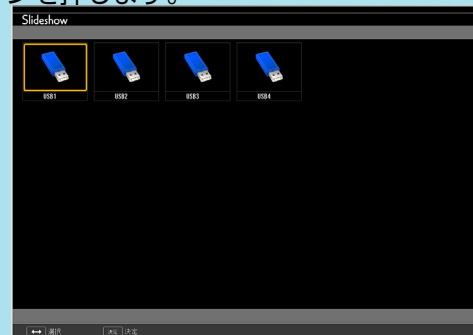
**例：デジタルカメラの接続**

**注意**

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSBストレージを直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱、あるいは指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

### USB機器の取り外し方

投写終了後は、本機のUSB(TypeA)端子からUSB機器を取り外します。

デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- 以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、リモコンの[◀][▶]ボタンを押して使用するドライブを選択し、決定ボタンを押します。

- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部のドライブの選択にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。
- 本機が一度に認識できるメディアは4つまでです。

## スライドショーの起動と終了

### スライドショーの起動方法

**操作**

1. **投写映像をUSBに切り替えます。** ☛ p.21
2. **プロジェクターに、USBストレージまたはデジタルカメラをセットします。** ☛ p.38
   スライドショーが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。

### スライドショーの終了方法

**操作**

スライドショーを終了するには、接続しているUSB機器を本機から取り外します。☛「USB機器の取り外し方」p.38

## スライドショーの基本操作

ここではスライドショーで画像を再生、投写する操作を説明します。以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

**操作**

**[▲][▼][◀][▶]ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダーにカーソルを合わせます。**

- JPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。
- JPEGファイルによっては、サムネイルが表示できないことがあります。その場合はファイルアイコンが表示されます。

現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれていない場合は、リモコンの[ページ]ボタン(送り)を押すか、画面下部の**次のページ**にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。

前の画面に戻る場合は、リモコンの[ページ]ボタン(戻し)を押すか、画面上部の**前のページ**にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。

**2** **[決定]ボタンを押します。**

選択した映像が表示されます。

フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、**上へ戻る**を選択して[決定]ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

## 画像を回転する

スライドショーで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。スライドショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。

次の手順でJPEG形式の画像を回転します。

**操作**

**1** **JPEG形式の画像を再生するか、スライドショーを実行します。**

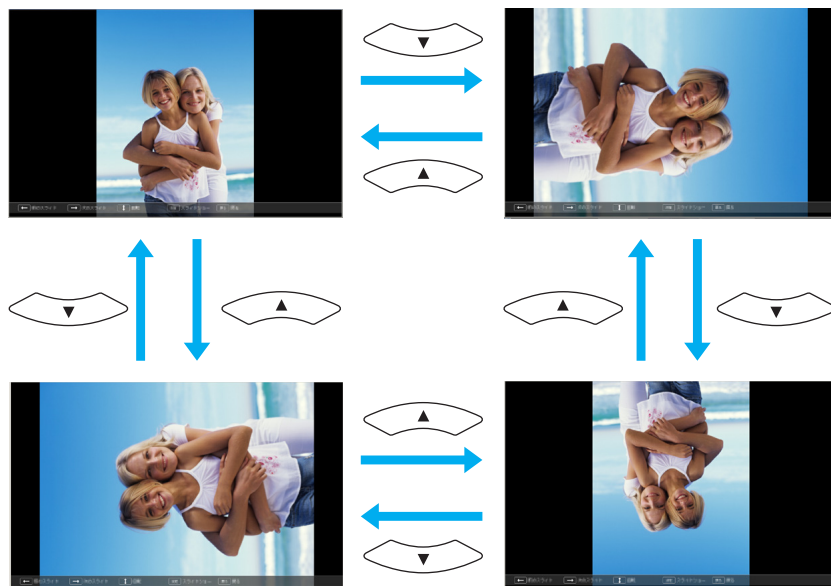
JPEG形式の画像の再生☛ p.41
スライドショーの実行☛ p.42

**2** **JPEG形式の画像が再生されたら、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押します。**

## 画像ファイルの投写

USBストレージ内の画像ファイル、デジタルカメラの画像ファイルをスライドショーで投写するには、次の2通りの方法があります。

- 選択した画像ファイルの投写
  1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。
- フォルダー内の画像ファイルの順次投写(スライドショー)
  フォルダー内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する機能です。☛ p.42

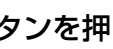
**注意**
USBストレージにアクセス中はUSBストレージの接続を外さないでください。スライドショーに異常が発生する場合があります。

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

### 画像を投写する

**操作**

1. **スライドショーを起動します。** ☛ p.39
   ファイル一覧画面が表示されます。
2. **[▲][▼][◀][▶]ボタンを押して、投写する画像ファイルにカーソルを合わせます。**

3. **[決定]ボタンを押します。**
   画像の再生が始まります。

4 **[戻る]ボタンを押すと、ファイル一覧画面に戻ります。**

### フォルダー内のすべての画像ファイルを順番に投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。

スライドショーでファイルを自動的に切り替えて表示するには、**オプション**画面で**表示時間設定**を**なし**以外に設定してください。初期設定は**なし**に設定されています。☛ p.42

**操作**

1 **スライドショーを起動します。** ☛ p.39

ファイル一覧画面が表示されます。

2 **[▲][▼][◀][▶]ボタンを押して、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせ[決定]ボタンを押します。**

3 **ファイル一覧画面の下部で「スライドショー」を選択して、[決定]ボタンを押します。**

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧画面に戻ります。**オプション**画面で**繰り返し再生**を**オン**に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。☛ p.42

スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。

**オプション**画面で**表示時間設定**を**なし**に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にはファイルが切り替わりません。リモコンの[決定]ボタンまたは[ページ]ボタン(送り)を押して、次のファイルを投写します。

## 画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

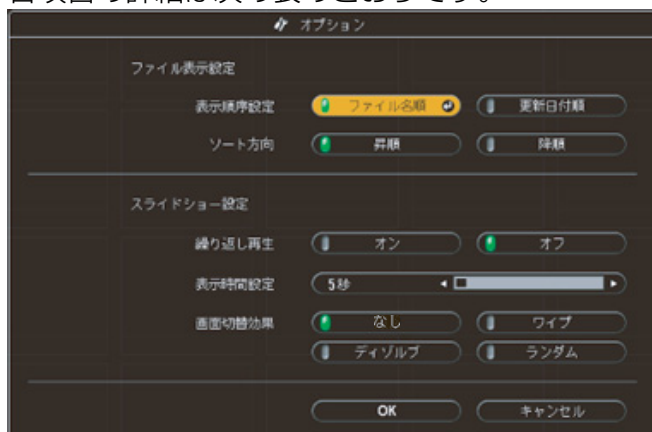
ファイルの表示順序やスライドショーの動作を**オプション**画面で設定できます。

**操作**

1. **[▲][▼][◀][▶]ボタンを押して、表示条件を設定するフォルダーにカーソルを合わせ[戻る]ボタンを押します。表示されたサブメニューから「オプション」を選択して[決定]ボタンを押します。**

2. **次のオプション画面が表示されますので、各項目を設定します。**

   変更したい項目の設定にカーソルを合わせて[決定]ボタンを押すと、設定が有効になります。

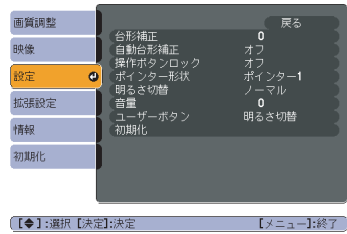
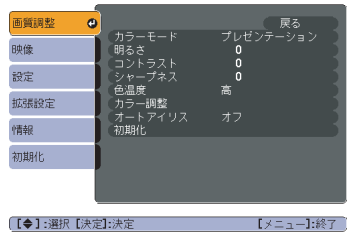
   各項目の詳細は次の表のとおりです。

| | |
|---|---|
| **表示順序設定** | 表示するファイルの順番を設定します。**ファイル名順**、**更新日付順**を昇降順で選択できます。 |
| **繰り返し再生** | 繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。 |
| **表示時間設定** | スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。**なし**(0)〜60秒までの設定ができます。**なし**に設定したときは、自動送りは無効となります。 |
| **画面切替効果** | スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。 |

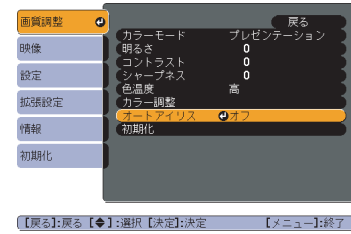
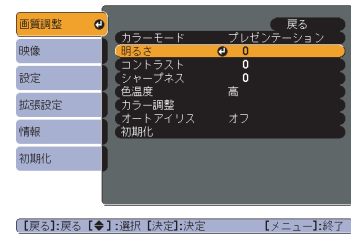
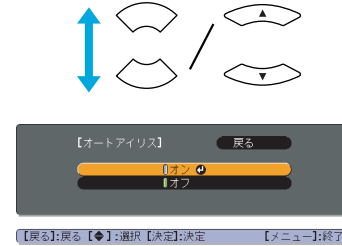
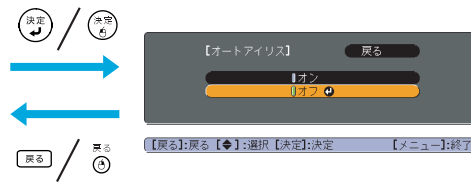
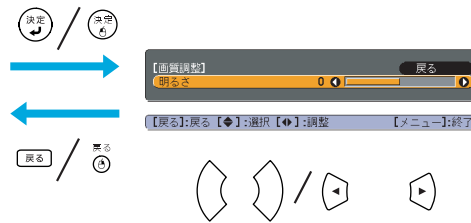
3. **[▲][▼][◀][▶]ボタンを押して「OK」にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。**

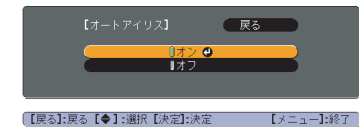
   設定が適用されます。

   設定を適用したくない場合は、**キャンセル**にカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。

# 環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

## トップメニューの選択

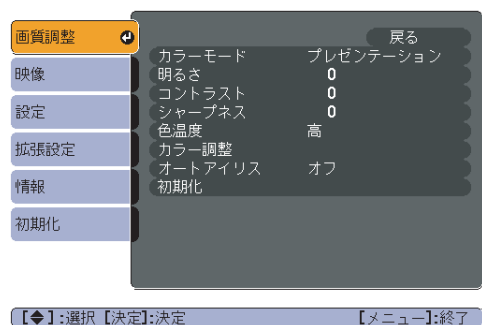
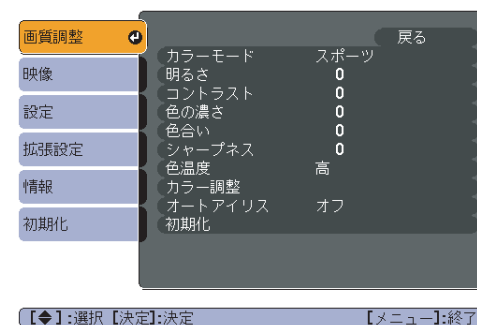
## サブメニューの選択

## 選択した項目の変更

## 終了

変更したい設定を選んで

### 使用するボタン

操作パネルの場合　リモコンの場合

## 画質調整メニュー

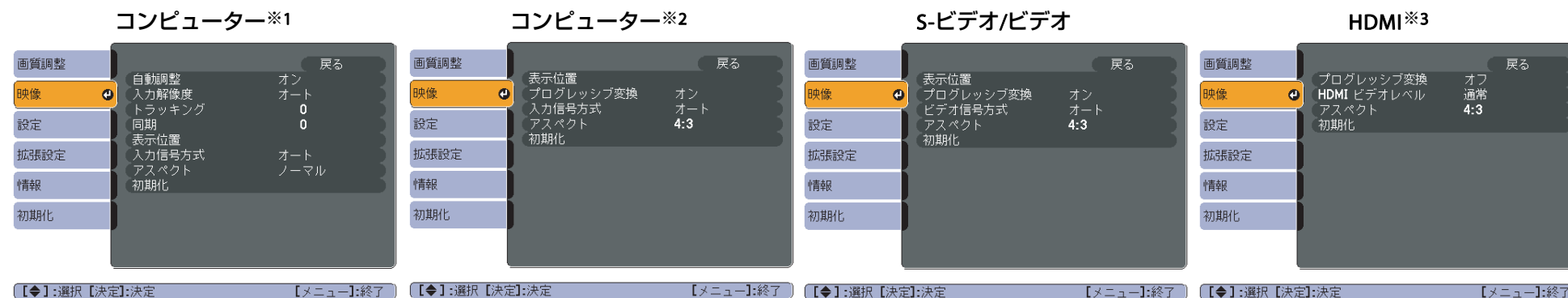
現在投写している入力ソースにより設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は入力ソースとその映像信号ごとに保持されます。

**コンピューター※1/USBディスプレー/HDMI※1※3/USB※3**

**コンピューター※2/S-ビデオ/ビデオ/HDMI※2※3**

※1 RGB信号入力時
※2 コンポーネントビデオ信号入力時
※3 EB-W10/X10のみ

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **カラーモード** | 使用シーンに応じて、画質を選択できます。☛ p.23 |
| **明るさ** | 映像の明るさを調整します。 |
| **コントラスト** | 映像の明暗の差を調整します。 |
| **色の濃さ** | 映像の色の濃さを調整します。 |
| **色合い** | (コンポジットビデオ/S-ビデオの場合は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能)<br>映像の色合いを調整します。 |
| **シャープネス** | 映像のシャープ感を調整します。 |
| **色温度** | (**画質調整 - カラーモード**をsRGBに設定しているときは設定不可)映像全体の色合いを調整します。高を選択すると青みがかった映像になり、低を選択すると赤みを帯びた映像になります。 |
| **カラー調整** | (**画質調整**メニュー - **カラーモード**をsRGBに設定していると、本項目は選択できません。)<br>**赤、緑、青**：各色の強さを個別に調整します。 |

| サブメニュー | 機能 |
| --- | --- |
| **オートアイリス** | (**画質調整**メニュー - **カラーモード**を**ダイナミック**、**シアター**に設定しているときに限り本項目は選択できます。)<br>映像に合わせて最適な光量に調整する(**オン**)/しない(**オフ**)を設定します。☛ p.24 |
| **初期化** | **画質調整**メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☛ p.53 |

# 映像メニュー

現在投写している入力ソースにより設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は入力ソースとその映像信号ごとに保持されます。入力ソースがUSBディスプレー/USB※3のときは、映像メニューの設定は行えません。

※1 RGB信号入力時
※2 コンポーネントビデオ信号入力時
※3 EB-W10/X10のみ

| サブメニュー | 機能 |
| --- | --- |
| **自動調整** | 入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(**オン**)/しない(**オフ**)を設定します。 |
| **入力解像度** | **オート**にしていると、入力信号の解像度を自動で判別します。**オート**に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は**ワイド**に、4:3や5:4画面は**ノーマル**に設定してください。 |
| **トラッキング**▸▸ | 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。 |
| **同期**▸▸ | 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 |
| **表示位置** | 映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。 |

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **プログレッシブ変換** | (コンポーネントビデオ、RGBビデオ入力時は、480i/576i信号入力時のみ設定可能。デジタルRGB信号入力時は設定不可。)<br>**オフ**：IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。<br>**オン**：インターレース(i)信号をプログレッシブ(p)に変換します。静止画に適しています。 |
| HDMIビデオレベル<br><br>(EB-W10/X10のみ) | (デジタルRGB信号入力時は設定不可)<br>本機のHDMI入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。 |
| **入力信号方式** | コンピューター入力端子からの入力信号を選択します。<br>**オート**にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。<br>**オート**に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。 |
| **ビデオ信号方式** | S-ビデオ入力端子/ビデオ入力端子からの入力信号を選択します。**オート**にすると、ビデオ信号を自動認識します。**オート**に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。 |
| **アスペクト** | 映像のアスペクト比に応じてアスペクトモードを設定します。☛ p.25 |
| **初期化** | **映像**メニューのうち、**入力信号方式**を除くすべての調整値を初期値に戻します。<br>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☛ p.53 |

# 設定メニュー

EB-W10/X10の場合

EB-S10の場合

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **台形補正** | 台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。☛『セットアップガイド』 |
| **自動台形補正**<br>(EB-W10/X10のみ) | **オン**にすると、自動で台形補正を行います。<br>(自動台形補正は**拡張設定**メニュー - **設置モード**で**フロント**を選択しているときに限り実行されます。) |
| **ズーム**<br>(EB-S10のみ) | 投写画面のサイズを**ワイド**(大)、**テレ**(小)で調整します。 |
| **操作ボタンロック** | 本機操作パネルの操作制限を設定します。☛ p.36 |
| **ポインター形状** | ポインターの形状を選択します。☛ p.30<br>ポインター1： ポインター2： ポインター3： |
| **明るさ切替** | ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。<br>暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは**エコ**に設定します。**エコ**で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力：約19%減、ランプ寿命：約1.3倍 |
| **音量** | 音量を調整します。設定した内容は入力ソースとその映像信号ごとに保持されます。 |
| **ユーザーボタン** | リモコンの[ユーザー]ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。[ユーザー]ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。[ユーザー]ボタンに割り当てることのできるのは以下の項目です。<br>**明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、入力解像度** |
| **初期化** | **設定**メニューのうち**ユーザーボタン**を除くすべての調整値を初期値に戻します。<br>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☛ p.53 |

# 拡張設定メニュー

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **表示設定** | 本機の表示に関する設定を行います。<br>**メッセージ表示**：**オフ**に設定すると、次の表示がされなくなります。**入力ソース**や**カラーモード**、**アスペクト**を切り替えた時の項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。<br>**背景表示**※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を**黒**、**青**、**ロゴ**のいずれかで設定します。<br>**スタートアップスクリーン**※1：スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を起動時に表示する(**オン**)/しない(**オフ**)を設定します。<br>**A/Vミュート**※1：A/Vミュート時に表示する画面を**黒**、**青**、**ロゴ**のいずれかで設定します。 |
| **ユーザーロゴ**※1 | 背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。☛ p.77 |
| **設置モード** | 本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。☛ p.68<br>**フロント**、**フロント・天吊り**、**リア**、**リア・天吊り**<br>リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。<br>**フロント↔フロント・天吊り**<br>**リア↔リア・天吊り** |

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **動作設定** | **ダイレクトパワーオン**：ダイレクトパワーオンさせる(**オン**)/させない(**オフ**)を設定します。<br>**オン**に設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。<br>**スリープモード**：**オン**に設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。<br>**スリープモード時間**：**スリープモード**を**オン**にしたときに自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲を1分単位で設定します。<br>**レンズカバータイマー**：**オン**に設定するとレンズカバーを閉めてから約30分後に自動で電源を切ります。お買い上げ時には**レンズカバータイマー**は**オン**になっています。<br>**高地モード**：標高約1500m以上でお使いの場合は**オン**にします。 |
| **待機モード** | 本機がスタンバイ状態のときも、コンピューターからUSB通信で本機の状態を監視・制御するときは、**通信オン**に設定します。<br>☛ p.83 |
| USB Type B | 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続してコンピューターの映像を投写するときには**USB Display**に設定します。<br>☛ p.17<br>リモコンでマウスポインターを操作するときは**ワイヤレスマウス**に設定します。☛ p.32<br>リモコンでページ送り/戻しの操作をするときは**ページ送り/戻し**に設定します。☛ p.33 |
| Link 21L | コンピューターからUSB通信で本機の状態を監視・制御するときは、**オン**に設定します。☛ p.83 |
| **言語** | メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 |
| **初期化** | **拡張設定**メニューのうち、**表示設定**※1、**動作設定**※2の調整値を初期値に戻します。<br>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☛ p.53 |

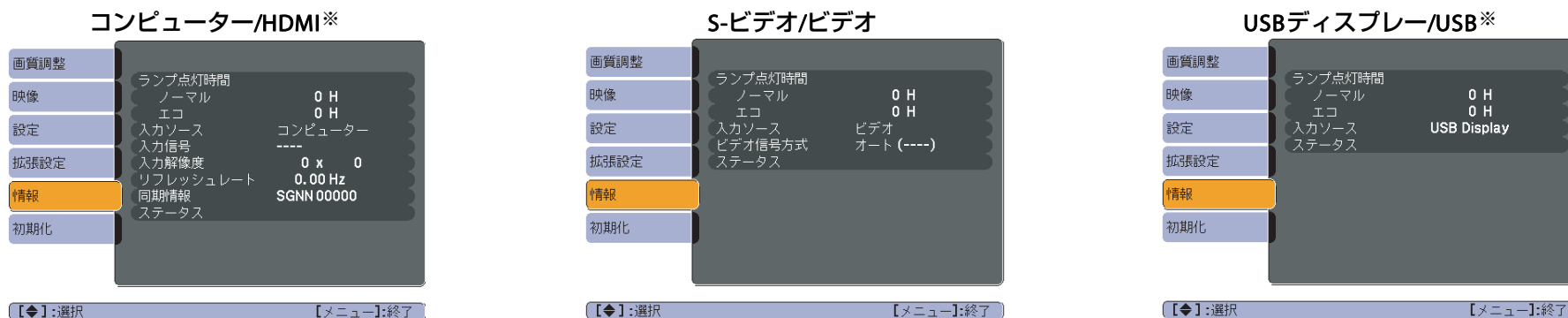
※1 **パスワードプロテクト**の**ユーザーロゴ保護**を**オン**にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。**ユーザーロゴ保護**を**オフ**にしてから設定を変更してください。☛ p.34

※2 **高地モード**は除く。

# 情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。

S-ビデオ/ビデオ

USBディスプレー/USB※

※ EB-W10/X10のみ

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **ランプ点灯時間** | ランプの累積使用時間※1を表示しています。<br>ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。 |
| **入力ソース** | 現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。 |
| **入力信号** | **映像**メニューの**入力信号方式**の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。 |
| **入力解像度** | 入力解像度を表示しています。 |
| **ビデオ信号方式** | **映像**メニューの**ビデオ信号方式**の設定内容を表示しています。 |
| **リフレッシュレート▸▸** | リフレッシュレートを表示しています。 |
| **同期情報** | 映像信号の情報を表示しています。<br>お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。 |
| **ステータス** | 本機に発生した異常についての情報です。<br>お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。 |

※1 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

# 初期化メニュー

| サブメニュー | 機能 |
|---|---|
| **全初期化** | 環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。<br>**入力信号方式、ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語**は初期値に戻りません。 |
| **ランプ点灯時間初期化** | ランプ点灯時間の累積をクリアし、「**0H**」に戻します。ランプを交換したときに行ってください。 |

# 困ったときに

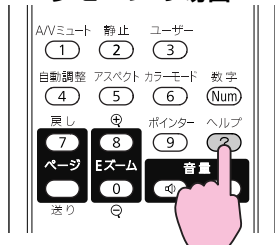
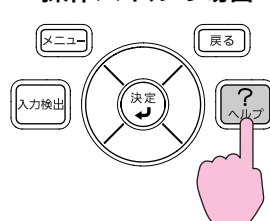
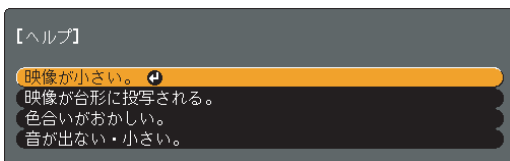
ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

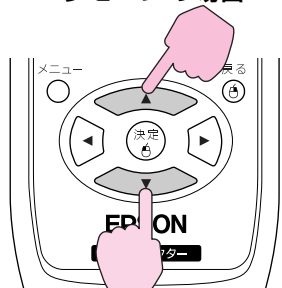
トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

## 操作

### 1 [ヘルプ]ボタンを押します。

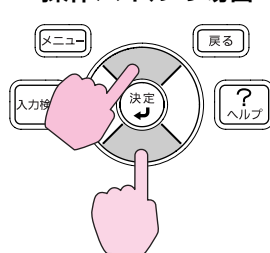
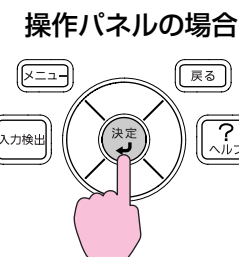
ヘルプ画面が表示されます。

リモコンの場合

操作パネルの場合

### 2 項目を選択します。

[◆]:選択 [決定]:決定　　　　[ヘルプ]:終了

リモコンの場合

操作パネルの場合

### 3 項目を決定します。

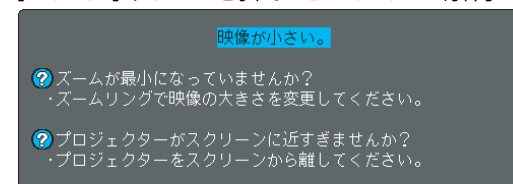
リモコンの場合

操作パネルの場合

以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

[ヘルプ]ボタンを押すとヘルプは解除されます。

映像が小さい。

?ズームが最小になっていませんか？
・ズームリングで映像の大きさを変更してください。

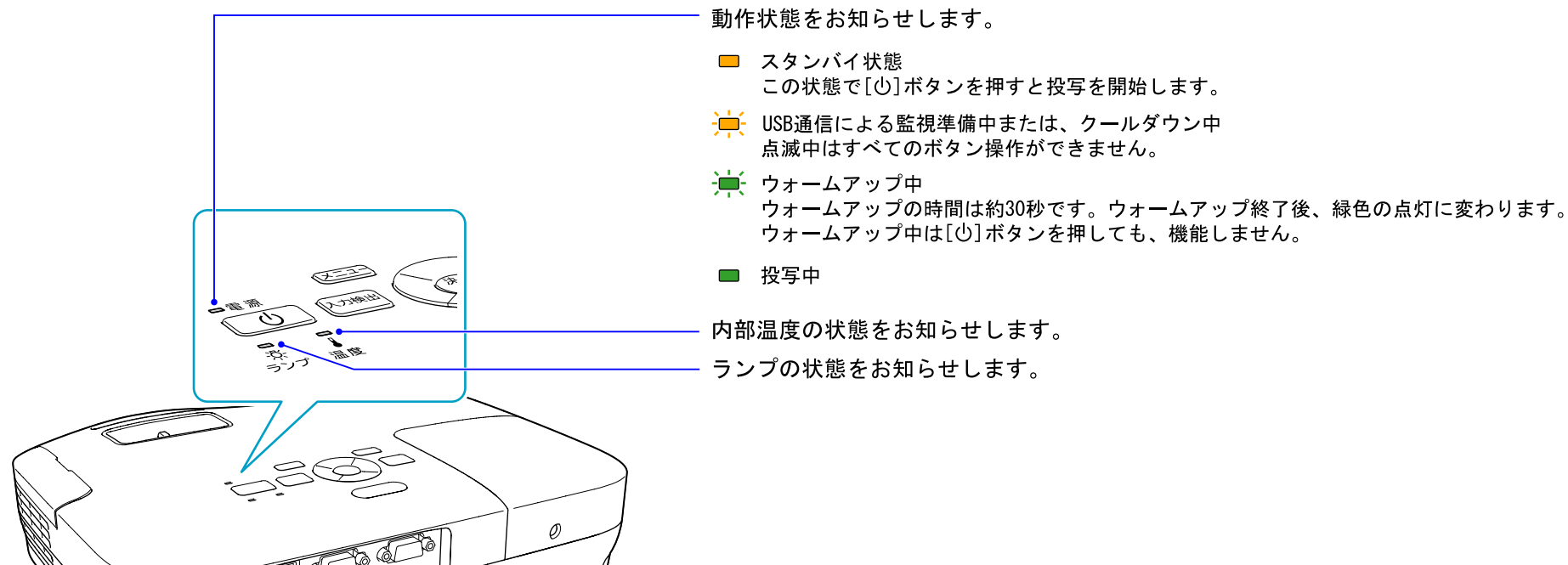
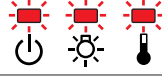
?プロジェクターがスクリーンに近すぎませんか？
・プロジェクターをスクリーンから離してください。

[戻る]:戻る　　　　[ヘルプ]:終了

ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」p.56をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり下記の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。

インジケーターをご覧になってもわからないときは、「インジケーターを見てもわからないとき」を確認してください。☛ p.59

## インジケーターの見方

本機には、次の3種類のインジケーターがあり本機の状態をお知らせします。

インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケーターがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源ケーブルを抜いても⏻インジケーターがしばらく点灯したままになることがありますが故障ではありません。

## インジケーターが赤色点灯/点滅時

：点灯　：点滅　：消灯

| 状態 | 原因 | 処置または状態 |
|---|---|---|
| | 内部異常 | ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。 『お問い合わせ先』 |
| | ファン異常<br>センサー異常 | ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。 『お問い合わせ先』 |
| | 内部高温異常<br>(オーバーヒート) | ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。<br>• エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。<br>• エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。 p.69,p.74<br>上記を確認後もエラーになるとき:ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。 『お問い合わせ先』 |
| | | 標高1500m以上の場所でお使いのときは、**高地モード**を**オン**にしてください。 p.50 |
| | ランプ異常<br>ランプ点灯失敗 | 次の2点を確認してください。<br>• ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 p.71<br>• エアフィルターを掃除します。 p.69 |
| | | **割れていないとき**:ランプを再セットして、電源を入れます。<br>**それでもエラーになるとき**:新しいランプに交換してから電源を入れます。<br>**それでもエラーになるとき**:ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。 『お問い合わせ先』 |
| | | **割れているとき**:お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 『お問い合わせ先』 |
| | | 標高1500m以上の場所でお使いのときは、**高地モード**を**オン**にしてください。 p.50 |
| | オートアイリス異常<br>電源系異常(バラスト) | ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。 『お問い合わせ先』 |

## インジケーターがオレンジ点灯/点滅時

：点灯　：点滅　：消灯　：本機の状態により異なる場合

| 状態 | 原因 | 処置または状態 |
| --- | --- | --- |
|  | 高温警告 | (異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。)<br>• エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。<br>• エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.69, p.74 |
|  | ランプ交換勧告 | 新しいランプに交換してください。☛ p.71<br>交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。 |

- インジケーターは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケーターを見てもわからないとき」p.59をご覧ください。
- 各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛『お問い合わせ先』

## インジケーターを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

### 投写に関するトラブル

- 「電源が入らない」☛ p.60
- 「映像が表示されない」☛ p.60
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 「動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)」☛ p.61
  コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 「自動的に投写が消える」☛ p.61
- 「「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される」☛ p.61
- 「「映像信号が入力されていません。」と表示される」☛ p.61
- 「ぼやける、ピントが合わない」☛ p.62
- 「ノイズが入る、乱れる」☛ p.62
- 「映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない」☛ p.63
  映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...
- 「色合いが違う」☛ p.63
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...(コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 「暗い」☛ p.64

### USB ディスプレーに関するトラブル

- 「映像が表示されない」☛ p.65
  USBケーブルを接続しても表示されないときなど...
- 「映像の一部が表示されない」☛ p.65
- 「マウスカーソルがちらつく」☛ p.65
- 「Windows Media Centerが投写できない」☛ p.65

### その他のトラブル

- 「音が出ない・小さすぎる」☛ p.66
- 「リモコンで操作できない」☛ p.66
- 「メッセージやメニューの言語を変更したい」☛ p.66

## 投写に関するトラブル

### 電源が入らない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| [⏻]ボタンを押しましたか？ | [⏻]ボタンを押して電源を入れます。 |
| インジケーターがすべて消灯していませんか？ | 電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。<br>電源ケーブルを抜いて差し直してください。☛『セットアップガイド』<br>または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。 |
| 電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？ | 電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先にご相談ください。☛『お問い合わせ先』 |
| **操作ボタンロック**が**全ロック**になっていませんか？ | リモコンの[⏻]ボタンを押します。**操作ボタンロック**を働かせないときは設定を**オフ**にしてください。<br>☛ **設定**メニュー -**操作ボタンロック**p.36 |

### 映像が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| [⏻]ボタンを押しましたか？ | [⏻]ボタンを押して電源を入れます。 |
| インジケーターがすべて消灯していませんか？ | 電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。<br>本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『セットアップガイド』<br>または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。 |
| A/Vミュートの状態になっていませんか？ | リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.24 |
| レンズカバーが閉じていませんか？ | レンズカバーを開けます。☛ p.9 |
| 環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？ | 全初期化してみてください。☛ **初期化**メニュー - **全初期化**p.53 |
| 入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？<br>**コンピューター投写時のみ** | スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。 |
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？<br>**ビデオ機器投写時のみ** | 接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ **映像**メニュー - **ビデオ信号方式**p.47 |

### 動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？<br>**ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ** | 映像信号を外部のみの出力に切り替えます。☛ コンピューターに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。 |

### 自動的に投写が消える

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| **スリープモード**を**オン**にしていませんか？ | [⏻]ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定を**オフ**にしてください。<br>☛ **拡張設定**メニュー - **動作設定** - **スリープモード**p.50 |

### 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？<br>**ビデオ機器投写時のみ** | 接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ **映像**メニュー - **ビデオ信号方式**p.47 |
| 映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？<br>**コンピューター投写時のみ** | コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。☛「対応解像度一覧」p.85 |

### 「映像信号が入力されていません。」と表示される

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』 |
| 接続した入力端子を正しく選択していますか？ | リモコンか操作パネルの[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.21 |
| 接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？ | それぞれの機器の電源を入れます。 |

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| プロジェクターに映像信号が出力されていますか？<br>**ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ** | 映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☛ コンピューターの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。☛『セットアップガイド』 |

**ぼやける、ピントが合わない**

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| ピントは正しく調整されていますか？ | フォーカスリングでピントを合わせます。☛『セットアップガイド』 |
| 投写距離は最適ですか？ | 投写距離の推奨範囲を外れていませんか？<br>推奨範囲内で設置してください。☛ p.79 |
| 台形補正の調整値を大きくしていませんか？ | 投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛『セットアップガイド』 |
| レンズが結露していませんか？ | 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。 |

**ノイズが入る、乱れる**

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 映像の信号形式の設定は合っていますか？<br>**ビデオ機器投写時のみ** | 接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ **映像**メニュー - **ビデオ信号方式**p.47 |
| ケーブル類は正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』 |
| ケーブルを延長していませんか？ | ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。 |
| 解像度の選択は正しいですか？<br>**コンピューター投写時のみ** | 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。<br>☛「対応解像度一覧」p.85 ☛ コンピューターの『取扱説明書』など |
| 「同期▸▸・トラッキング▸▸」は正しく調整されていますか？<br>**コンピューター投写時のみ** | リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの**同期**、**トラッキング**で調整することもできます。☛ **映像**メニュー - **トラッキング**、**同期**p.47 |

### 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ **コンピューター投写時のみ** | 接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ **映像**メニュー - **入力解像度**p.47 |
| Eズームで拡大したままになっていませんか？ | リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.31 |
| 表示位置は正しく調整されていますか？ | コンピューター映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの**表示位置**で調整することもできます。<br>コンピューター映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの**表示位置**で調整します。☛ **映像**メニュー - **表示位置**p.47 |
| デュアルディスプレーの設定をしていませんか？ **コンピューター投写時のみ** | 接続しているコンピューターのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレーの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレーの設定を解除します。☛ コンピューターのビデオドライバーの『取扱説明書』 |
| 解像度の選択は正しいですか？ **コンピューター投写時のみ** | 本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。<br>☛「対応解像度一覧」p.85 ☛ コンピューターの『取扱説明書』など |

### 色合いが違う

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？ | 以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。<br>コンピューター入力端子に接続した機器の映像のとき☛ **映像**メニュー - **入力信号方式**p.47<br>ビデオ、S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき☛ **映像**メニュー - **ビデオ信号方式**p.47 |
| 映像の明るさは正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの**明るさ**を調整してください。☛ **画質調整**メニュー - **明るさ**p.46 |
| ケーブル類が正しく接続されていますか？ | 投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』 |
| コントラスト▸▸は正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの**コントラスト**を調整してください。☛ **画質調整**メニュー - **コントラスト**p.46 |
| 適切なカラー調整に設定されていますか？ | 環境設定メニューの**カラー調整**を調整してください。☛ **画質調整**メニュー - **カラー調整**p.46 |
| 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ **ビデオ機器投写時のみ** | 環境設定メニューの**色の濃さ、色合い**を調整してください。☛ **画質調整**メニュー - **色の濃さ、色合い**p.46 |

**暗い**

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 映像の明るさは正しく設定されていますか？ | 環境設定メニューの**明るさ**や**明るさ切替**を設定してください。<br>☛ **画質調整**メニュー - **明るさ**p.46 ☛ **設定**メニュー - **明るさ切替**p.49 |
| コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？ | 環境設定メニューの**コントラスト**を調整してください。<br>☛ **画質調整**メニュー - **コントラスト**p.46 |
| ランプの交換時期ではありませんか？ | ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.71 |

## USBディスプレーに関するトラブル

### 映像が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 環境設定メニューの設定は正しいですか？ | USBディスプレーを使うときは、**USB TypeB**の設定を**USB Display**に設定してください。☛ **拡張設定**メニュー - **USB Type B**p.50 |
| USBケーブルが正しく接続されていますか？ | USBケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されている場合は、接続し直します。 |

### 映像の一部が表示されない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ **Windowsの場合** | WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。 |

### マウスカーソルがちらつく

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| 「レイヤードウインドウの転送」にチェックマークが入っていませんか？ | コンピューターで**すべてのプログラム** - **EPSON Projector** - **EPSON USB Display** - **EPSON USB Display Vx.x**の設定で、**レイヤードウインドウの転送**のチェックを外します。 |

### Windows Media Centerが投写できない

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| Windows Media Centerを全画面で表示していませんか？ **Windowsの場合** | USBディスプレーでは、Windows Media Centerを全画面で表示して投写することはできません。 |

## その他のトラブル

### 音が出ない・小さすぎる

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| 音声入力は正しく接続されていますか？ | 音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。 |
| 音量調整が最小になっていませんか？ | 聞こえる音量に調整してください。☛ p.49 ☛『セットアップガイド』 |
| A/Vミュートの状態になっていませんか？ | リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.24 |
| オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？ | 市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。 |

### リモコンで操作できない

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？ | リモコン受光部に向かって操作してください。<br>操作可能範囲☛『セットアップガイド』 |
| 本機から離れすぎていませんか？ | 操作可能距離は、約6mです。☛『セットアップガイド』 |
| リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？ | 強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。 |
| 乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？ | 新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p.70 |

### メッセージやメニューの言語を変更したい

| 確認 | 対処法 |
| --- | --- |
| 言語の設定を変更します。 | 環境設定メニューの「**言語**」で設定を変更してください。☛ p.50 |

# 付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

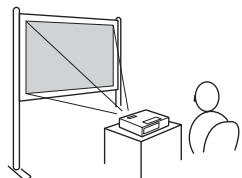
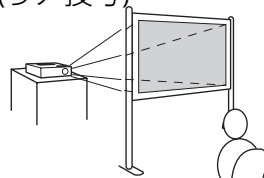
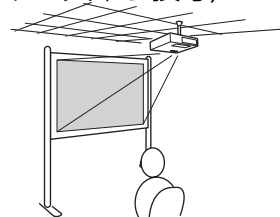
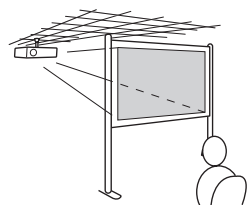
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

**警告**

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
  天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

**注意**

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

- 正面から投写する(フロント投写)

- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)

- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)

- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)

- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
  ☛ p.76
- リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。
  **フロント↔フロント・天吊り**
  **リア、リア・天吊り**に設定するには環境設定メニューで行います。☛ p.50

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

**注意**
掃除をするときは、本機の電源をオフにしてから行ってください。

## 本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

**注意**
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

## レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

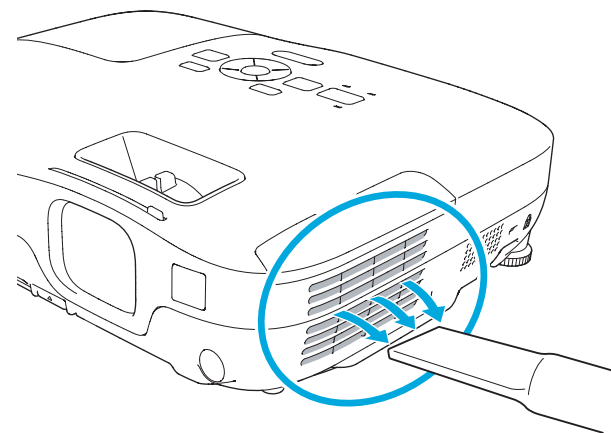
**警告**
レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

**注意**
レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

## エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

**「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」**

**注意**
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。☛ p.74
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

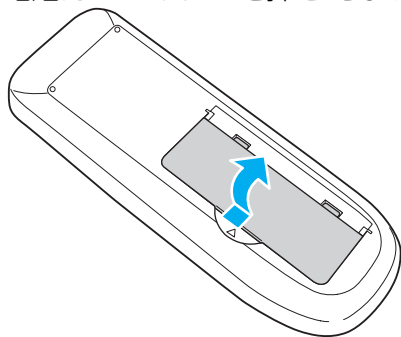
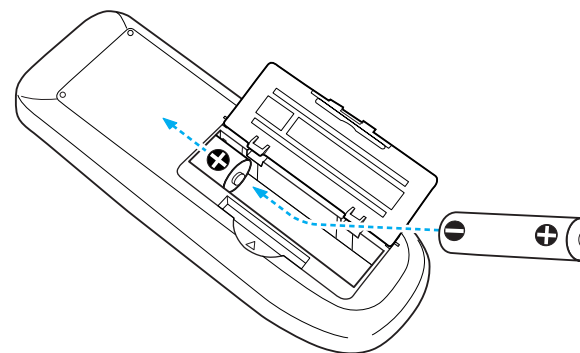
ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

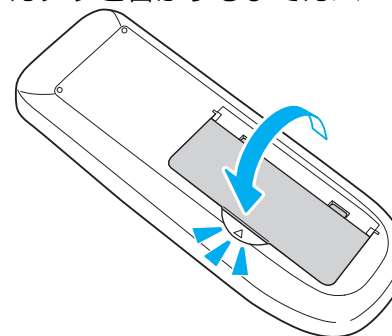
## リモコンの電池の交換方法

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用できません。

**注意**
電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。☛『安全にお使いいただくために』

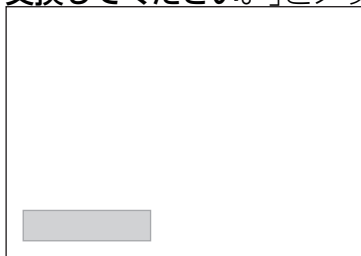
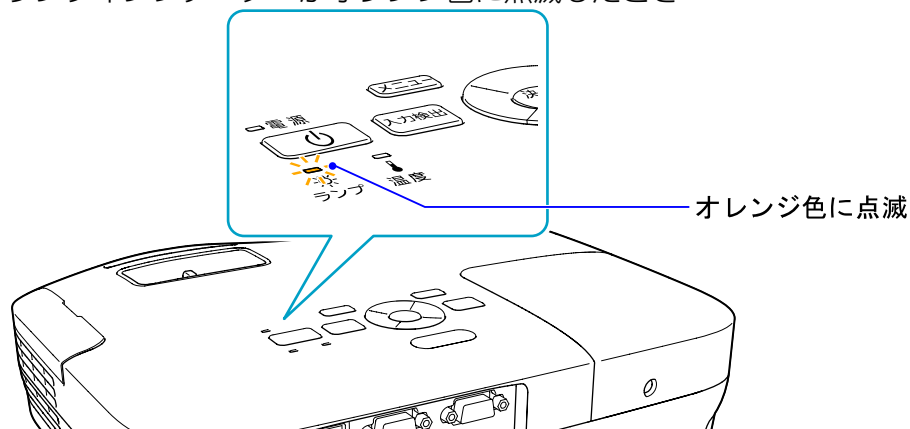
**操作**

1. **電池カバーを外します。**
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。

2. **新しい電池と交換します。**

**注意**
電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(−)を正しく入れてください。

3. **電池カバーを取り付けます。**
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

# ランプの交換

## ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに下図のように投写画面の左下に「**投写ランプを交換してください。**」とメッセージが表示されたとき

- ランプインジケーターがオレンジ色に点滅したとき

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

**注意**

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。☛ p.49
  **明るさ切替**：**ノーマル**で使い続けた場合：約3900時間
  **明るさ切替**：**エコ**で使い続けた場合：約4900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。

## ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

 **警告**

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプの分解•改造は、絶対にしないでください。分解•改造したランプをセットして本機を使用すると、火災•感電•事故の原因となります。

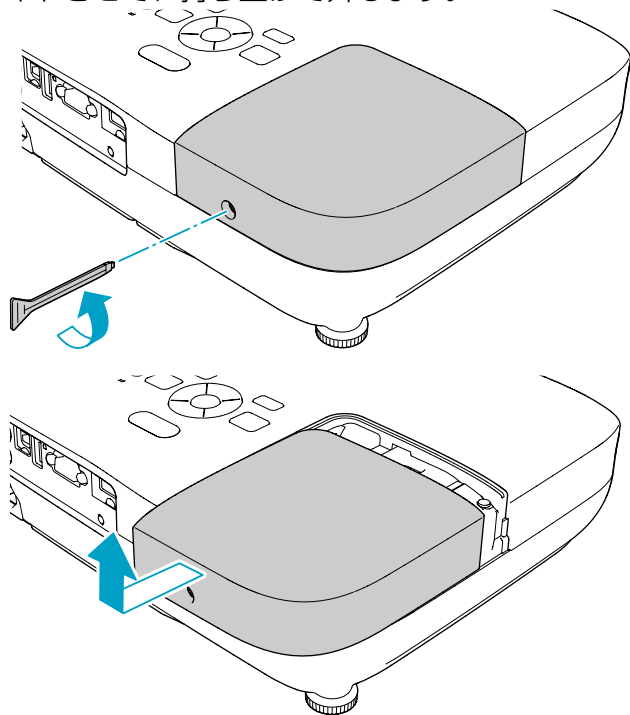
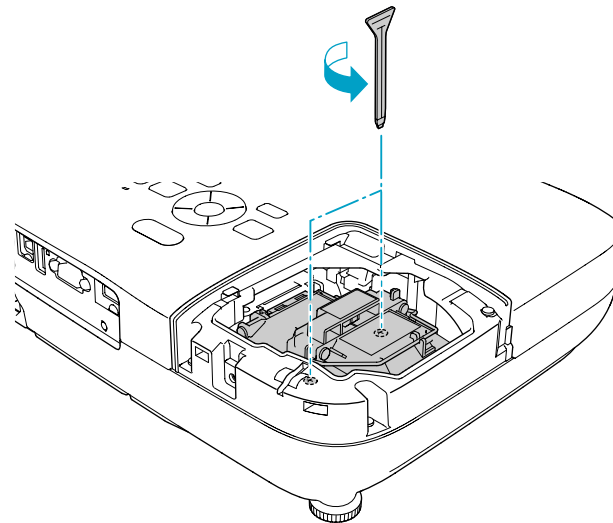
 **注意**

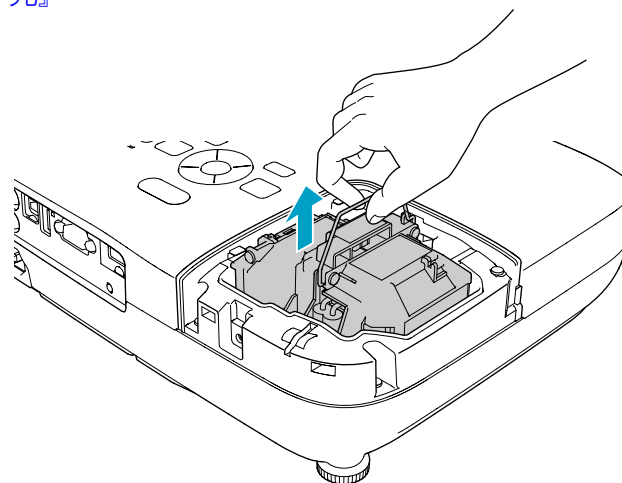
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

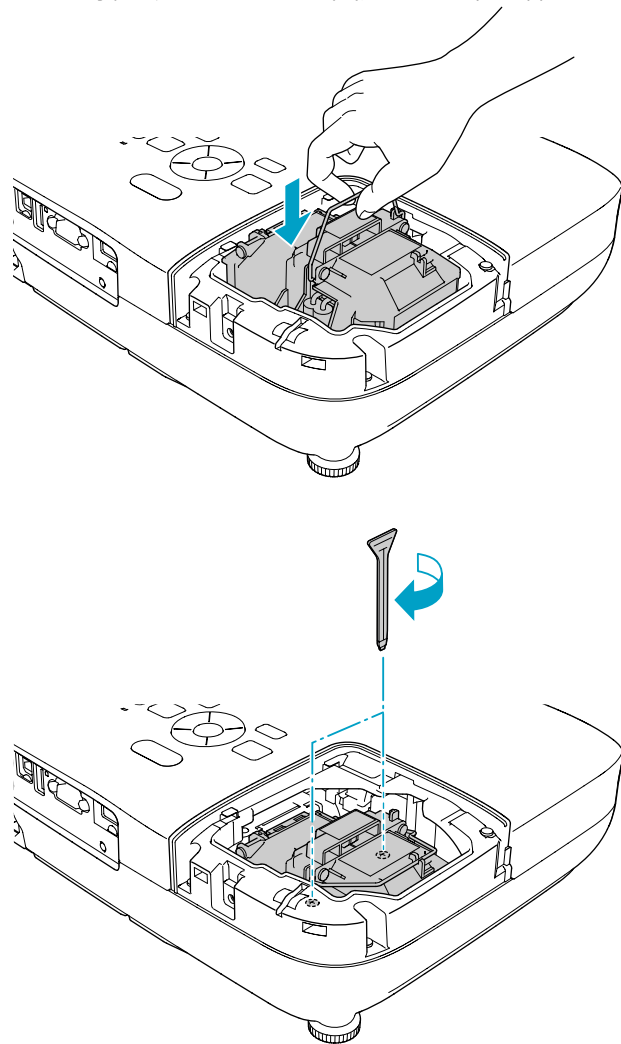
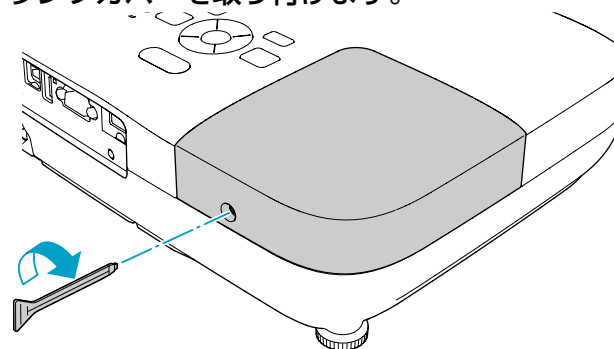
**操作**

1. **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。**

2. **ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。**

   ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。

3. **ランプ固定ねじ2本をゆるめます。**

4. **古いランプを取っ手をつまんで取り出します。**

   ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先にご相談ください。☛『お問い合わせ先』

新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。

ランプカバーを取り付けます。

**注意**

- ランプは確実に取り付けてください。 本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

## ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケーターでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。☛ p.53

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

# エアフィルターの交換

## エアフィルターの交換時期

次の場合はエアフィルターを交換してください。

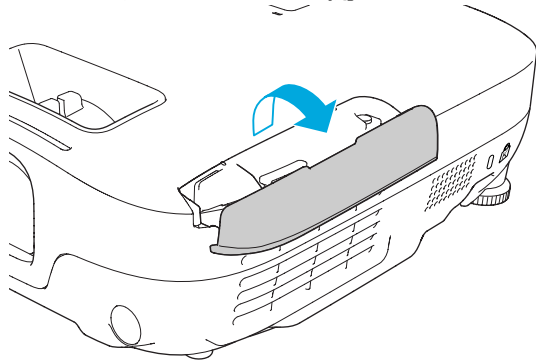
- エアフィルターが破れているとき。
- エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるとき。

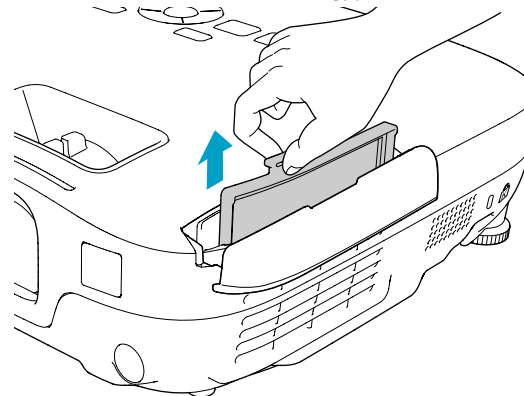
## エアフィルターの交換方法

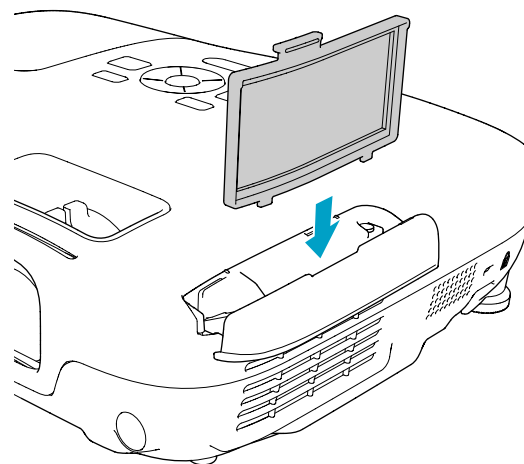
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

**操作**

1. **本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。**

2. **エアフィルターカバーを開けます。**

3. **エアフィルターを取り外します。**

エアフィルターのタブに指をかけて、まっすぐ引き出します。

4. **新しいエアフィルターを取り付けます。**

外側からエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

エアフィルターカバーを閉めます。

使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。
枠部分の材質：ABS
フィルター部分の材質：ポリウレタンフォーム

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2010年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## オプション品

| |
|---|
| **60型スクリーン　ELPSC27**<br>**80型スクリーン　ELPSC28**<br>**100型スクリーン　ELPSC29**<br>携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比▶4:3) |
| **53型スクリーン　ELPSC30**<br>**64型スクリーン　ELPSC31**<br>黒板などに貼り付けて使用するマグネット式スクリーンです。(アスペクト比▶4:3) |
| **コンピューターケーブル　ELPKC02**<br>**(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)**<br>製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。 |
| **コンピューターケーブル　ELPKC09**<br>**(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)**<br>**コンピューターケーブル　ELPKC10**<br>**(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)**<br>製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。 |
| **D端子ケーブル　ELPKC22**<br>**(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)**<br>映像機器のD端子と接続するときに使います。 |
| **コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19**<br>**(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)**<br>コンポーネントビデオ▶を投写するときに使います。 |
| **書画カメラ　ELPDC06**<br>コンピューター経由で本機と接続して、書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。 |
| **パイプ450(450mm)※　ELPFP13**<br>**パイプ700(700mm)※　ELPFP14**<br>高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。 |
| **天吊り金具※　ELPMB23**<br>本機を天井に取り付けるときに使います。 |

※　天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店または「『お問い合わせ先』」に記載の連絡先にご相談ください。☛『お問い合わせ先』

## 消耗品

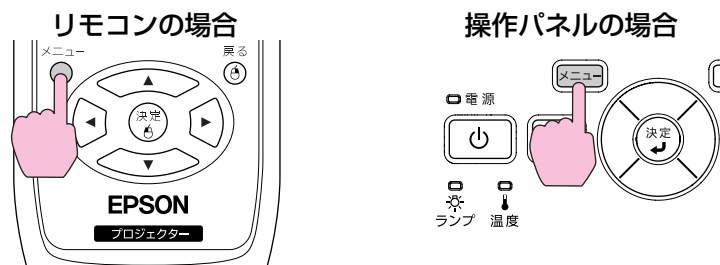
| |
|---|
| **交換用ランプ　ELPLP58**<br>使用済みランプと交換します。 |
| **エアフィルター　ELPAF25**<br>使用済みエアフィルターと交換します。 |

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

## 操作

**1** **ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。**

**リモコンの場合**

**2** **環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「ユーザーロゴ」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」p.45**

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

- **パスワードプロテクト**で**ユーザーロゴ保護**を**オン**に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。**ユーザーロゴ保護**を**オフ**にしてから操作してください。☛ p.34
- 台形補正、Eズーム、アスペクトを行っているときに**ユーザーロゴ**を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

**3** **「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。**

リモコンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

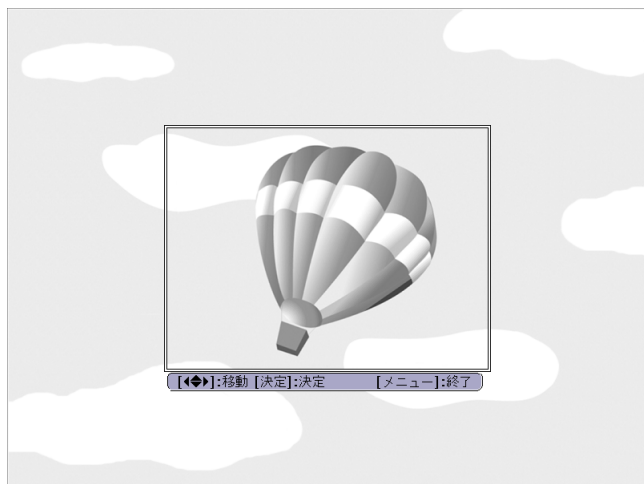
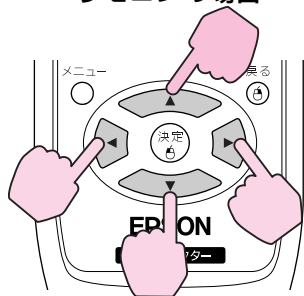
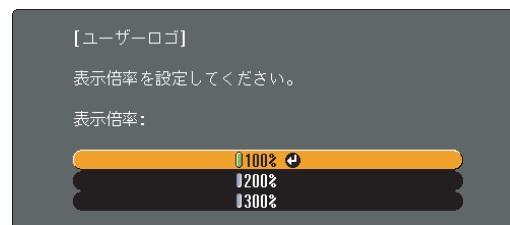
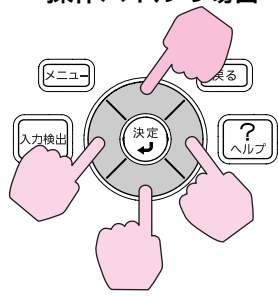
**4** **登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。**

リモコンの場合

操作パネルの場合

登録できるサイズは400 × 300ドットです。

5 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。

7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「**ユーザーロゴの設定が終了しました。**」とメッセージが表示されます。

- ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。
- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

## EB-W10の投写距離表

❶ 投写距離
❷ レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
❸ レンズ中心

単位：cm

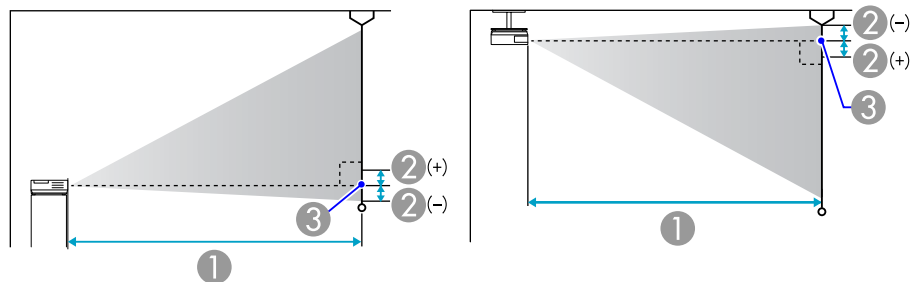
| 4:3スクリーンサイズ | | ❶ 最短(ワイド)～最長(テレ) | ❷ |
|---|---|---|---|
| 40型 | 81x61 | 126 ~ 152 | 9 |
| 50型 | 100x76 | 158 ~ 190 | 11 |
| 60型 | 120x91 | 190 ~ 229 | 13 |
| 80型 | 160x120 | 255 ~ 306 | 17 |
| 100型 | 200x150 | 319 ~ 383 | 22 |
| 120型 | 240x180 | 383 ~ 461 | 26 |
| 150型 | 300x230 | 480 ~ 577 | 33 |
| 200型 | 410x300 | 641 ~ 770 | 44 |
| 250型 | 510x380 | 802 ~ 963 | 54 |
| 280型 | 570x430 | 898 ~ 1079 | 61 |

単位：cm

| 16:9スクリーンサイズ | | ❶ 最短(ワイド)～最長(テレ) | ❷ |
|---|---|---|---|
| 40型 | 89x50 | 114 ~ 137 | 5 |
| 50型 | 110x62 | 143 ~ 172 | 6 |
| 60型 | 130x75 | 172 ~ 208 | 8 |
| 80型 | 180x100 | 231 ~ 278 | 10 |
| 100型 | 220x120 | 289 ~ 348 | 13 |
| 120型 | 270x150 | 348 ~ 418 | 15 |
| 150型 | 330x190 | 435 ~ 523 | 19 |
| 200型 | 440x250 | 582 ~ 699 | 26 |
| 250型 | 550x310 | 728 ~ 874 | 32 |
| 310型 | 690x390 | 903 ~ 1084 | 40 |

単位：cm

| 16:10スクリーンサイズ | | ❶ 最短(ワイド)～最長(テレ) | ❷ |
|---|---|---|---|
| 40型 | 86x54 | 111 ~ 134 | 8 |
| 50型 | 110x67 | 139 ~ 168 | 10 |
| 60型 | 130x81 | 168 ~ 202 | 12 |
| 80型 | 170x110 | 225 ~ 270 | 15 |
| 100型 | 220x130 | 281 ~ 338 | 19 |
| 120型 | 260x160 | 338 ~ 407 | 23 |
| 150型 | 320x200 | 424 ~ 509 | 29 |
| 200型 | 430x270 | 566 ~ 680 | 38 |
| 250型 | 540x340 | 708 ~ 850 | 48 |
| 320型 | 690x430 | 907 ~ 1089 | 62 |

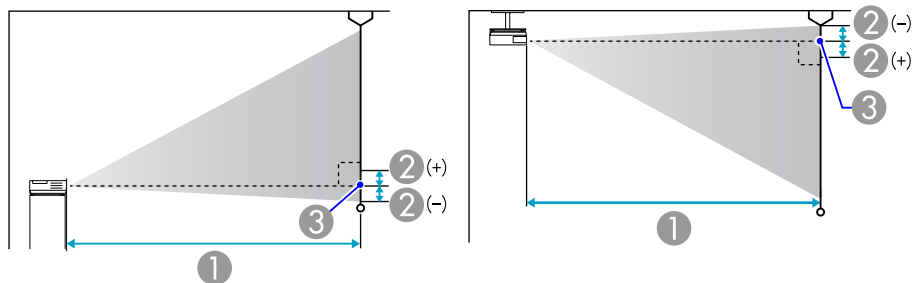
## EB-X10の投写距離表

❶ 投写距離
❷ レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
❸ レンズ中心

単位：cm

| 4:3スクリーンサイズ | | ❶ 最短(ワイド)～最長(テレ) | ❷ |
|---|---|---|---|
| 30型 | 61x46 | 89 ~ 107 | -5 |
| 40型 | 81x61 | 119 ~ 143 | -7 |
| 50型 | 100x76 | 150 ~ 180 | -8 |
| 60型 | 120x91 | 180 ~ 217 | -10 |
| 80型 | 160x120 | 241 ~ 290 | -14 |
| 100型 | 200x150 | 302 ~ 363 | -17 |
| 120型 | 240x180 | 363 ~ 436 | -20 |
| 150型 | 300x230 | 454 ~ 546 | -25 |
| 200型 | 410x300 | 607 ~ 729 | -34 |
| 250型 | 510x380 | 759 ~ 912 | -42 |
| 300型 | 610x460 | 912 ~ 1095 | -51 |

単位：cm

| 16:9スクリーンサイズ | | ❶ 最短(ワイド)～最長(テレ) | ❷ |
|---|---|---|---|
| 30型 | 66x37 | 97 ~ 117 | +1 |
| 40型 | 89x50 | 130 ~ 156 | +1 |
| 50型 | 110x62 | 163 ~ 196 | +1 |
| 60型 | 130x75 | 196 ~ 236 | +1 |
| 80型 | 180x100 | 263 ~ 316 | +2 |
| 100型 | 220x120 | 329 ~ 396 | +2 |
| 120型 | 270x150 | 396 ~ 475 | +3 |
| 150型 | 330x190 | 495 ~ 595 | +3 |
| 200型 | 440x250 | 661 ~ 794 | +5 |
| 250型 | 550x310 | 827 ~ 994 | +6 |
| 275型 | 610x340 | 910 ~ 1093 | +6 |

## EB-S10の投写距離表

❶ 投写距離
❷ レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
❸ レンズ中心

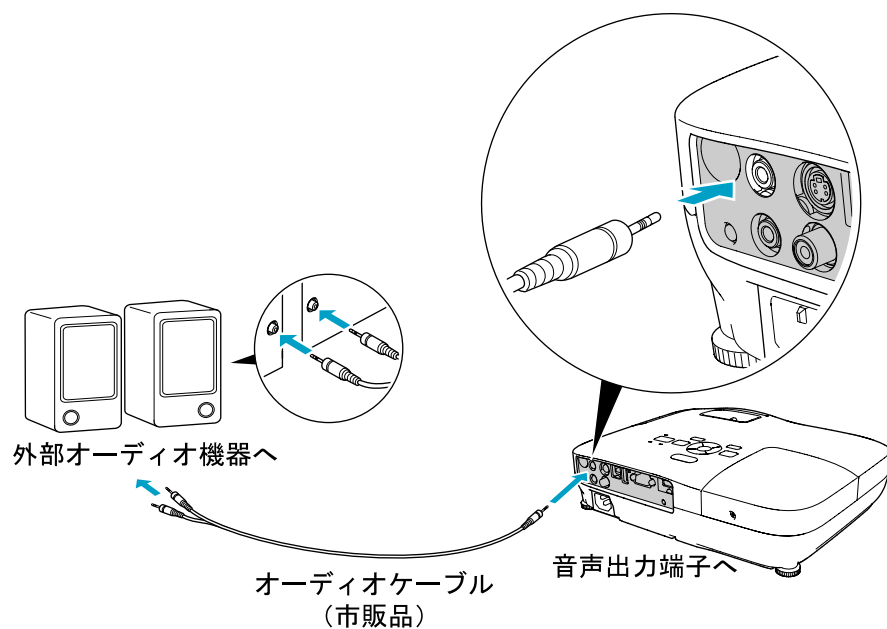
単位：cm

| 4:3スクリーンサイズ | | ❶ | ❷ |
|---|---|---|---|
| | | 最短(ワイド)～最長(テレ) | (ワイド) |
| 30型 | 61x46 | 87 ~ 119 | -5 |
| 40型 | 81x61 | 117 ~ 159 | -7 |
| 50型 | 100x76 | 147 ~ 200 | -8 |
| 60型 | 120x91 | 177 ~ 240 | -10 |
| 80型 | 160x120 | 237 ~ 321 | -13 |
| 100型 | 200x150 | 297 ~ 402 | -17 |
| 120型 | 240x180 | 357 ~ 483 | -20 |
| 150型 | 300x230 | 447 ~ 605 | -25 |
| 200型 | 410x300 | 597 ~ 807 | -33 |

単位：cm

| 16:9スクリーンサイズ | | ❶ | ❷ |
|---|---|---|---|
| | | 最短(ワイド)～最長(テレ) | (ワイド) |
| 30型 | 66x37 | 95 ~ 130 | +1 |
| 40型 | 89x50 | 128 ~ 174 | +1 |
| 50型 | 110x62 | 161 ~ 218 | +1 |
| 60型 | 130x75 | 193 ~ 262 | +2 |
| 80型 | 180x100 | 259 ~ 350 | +2 |
| 100型 | 220x120 | 324 ~ 438 | +3 |
| 120型 | 270x150 | 389 ~ 527 | +3 |
| 150型 | 330x190 | 487 ~ 659 | +4 |
| 200型 | 440x250 | 651 ~ 880 | +5 |

## 外部スピーカーとの接続(EB-S10のみ)

本機の音声出力端子と外付けのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。接続は市販のオーディオケーブル(ピンプラグ↔3.5mmステレオミニプラグなど)で行います。オーディオケーブルは、外部オーディオ機器のコネクター形状に合わせて購入してください。

- 音声出力端子へオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり本機の内蔵スピーカーからは音が出なくなります。
- 接続するときはノイズが生じるので、スピーカーの音量を小さくするか、またはスピーカーの電源をオフにしてください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルをご使用になる際は｢抵抗なし｣と表記されたものをお選びください。

コンピューターからUSB経由で本機の監視・制御が行えます。本機とプロジェクターをUSBケーブルで接続し、通信コマンド(ESC/VP21コマンド)を入力して行います。

## 始める前に

ESC/VP21コマンドでプロジェクターを監視・制御するには以下の準備が必要です。

**操作**

1. **お使いのコンピューターにUSB通信ドライバー(EPSON USB-COM Driver)をインストールします。EPSON USB-COM Driverは以下のWebサイトからダウンロードできます。**
   http://www.epson.jp/products/download/elp/menu.htm
2. **本機の環境設定メニューで「拡張設定 」- 「USB Type B」を「ワイヤレスマウス」または「ページ送り/戻し」に設定します。**
3. **同じく拡張設定メニューで「Link 21L」を「オン」に設定します。**
4. **コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子をUSBケーブルで接続します。**
   2回目以降は手順②から始めます。

## コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン‘:’(3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後‘:’を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に‘:’を返信します。

| 項目 | | | コマンド |
|---|---|---|---|
| 電源のオン/オフ | オン | | PWR ON |
| | オフ | | PWR OFF |
| 信号切り替え | コンピューター | オート | SOURCE 1F |
| | | RGB | SOURCE 11 |
| | HDMI(EB-W10/X10のみ) | | SOURCE 30 |
| | ビデオ | | SOURCE 41 |
| | S-ビデオ | | SOURCE 42 |
| | USBディスプレー | | SOURCE 51 |
| | USB(EB-W10/X10のみ) | | SOURCE 52 |
| A/Vミュート機能のオン/オフ | オン | | MUTE ON |
| | オフ | | MUTE OFF |
| A/Vミュート機能の切り替え | 黒 | | MSEL 00 |
| | 青 | | MSEL 01 |
| | ロゴ | | MSEL 02 |

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

### 通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps(通信時の速度はUSB1.1規格に準拠します。)
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

## EB-W10の対応解像度表

### コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 16:9 | フル | ズーム | リアル |
| VGA | 60/72/75/85 | 640x480 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SVGA | 56/60/72/75/85 | 800x600 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 800x600 |
| XGA | 60/70/75/85 | 1024x768 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1024x768 |
| WXGA | 60 | 1280x768 | 1280x768 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x768 | 1280x768 |
| | 60 | 1360x768 | 1280x722 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x722 | 1280x768 |
| | 60/75/85 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| WXGA+ | 60/75/85 | 1440x900 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| WSXGA+※ | 60 | 1680x1050 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| SXGA | 70/75/85 | 1152x864 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1152x800 |
| | 60/75/85 | 1280x1024 | 1000x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1152x800 |
| | 60/75/85 | 1280x960 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1152x800 |
| SXGA+ | 60/75 | 1400x1050 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| UXGA | 60 | 1600x1200 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| MAC13" | 67 | 640x480 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| MAC16" | 75 | 832x624 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 832x624 |
| MAC19" | 75 | 1024x768 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1024x768 |
| | 60 | 1024x768 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1024x768 |
| MAC21" | 75 | 1152x870 | 1059x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1152x800 |

※ 環境設定メニューの**入力解像度**で**ワイド**を選択しているときに限り対応します。
上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

## コンポーネントビデオ

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 16:9 | フル | ズーム | リアル |
| SDTV(480i) | 60 | 720x480 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SDTV(576i) | 50 | 720x576 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 768x576 |
| SDTV(480p) | 60 | 720x480 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SDTV(576p) | 50 | 720x576 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 768x576 |
| HDTV(720p) | 50/60 | 1280x720 | 1280x720 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x720 |
| HDTV(1080i) | 50/60 | 1920x1080 | 1280x720 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 |

## コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 16:9 | フル | ズーム | リアル |
| TV(NTSC) | 60 | 720x480 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| TV(PAL,SECAM) | 50 | 720x576 | 1066x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 768x576 |

## HDMI入力端子からの入力信号(EB-W10のみ)

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 16:9 | フル | ズーム | リアル |
| VGA | 60 | 640x480 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SVGA | 60 | 800x600 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 800x600 |
| XGA | 60 | 1024x768 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1024x768 |
| WXGA | 60 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| SXGA | 60 | 1280x960 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 16:9 | フル | ズーム | リアル |
| | 60 | 1280x1024 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| SXGA+ | 60 | 1400x1050 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| UXGA | 60 | 1600x1200 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 1280x800 |
| SDTV(480i) | 60 | 720x480 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SDTV(480p) | 60 | 720x480 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 640x480 |
| SDTV(576i) | 50 | 720x576 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 768x576 |
| SDTV(576p) | 50 | 720x576 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x800 | 768x576 |
| HDTV(720p) | 50/60 | 1280x720 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x720 |
| HDTV(1080i) | 50/60 | 1920x1080 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 |
| HDTV(1080p) | 50/60 | 1920x1080 | 1280x720 | 1280x800 | 1280x720 | 1280x800 |

## EB-X10の対応解像度表

### コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 4:3 | 16:9 |
| VGA | 60/72/75/85 | 640x480 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| SVGA | 56/60/72/75/85 | 800x600 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| XGA | 60/70/75/85 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| WXGA | 60 | 1280x768 | 1024x614 | 1024x768 | 1024x576 |
| | 60 | 1360x768 | 1024x578 | 1024x768 | 1024x576 |
| | 60/75 | 1280x800 | 1024x640 | 1024x768 | 1024x576 |
| WXGA+ | 60 | 1440x900 | 1024x640 | 1024x768 | 1024x576 |
| SXGA | 70/75 | 1152x864 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 4:3 | 16:9 |
| | 60 | 1280x1024 | 960x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| | 60 | 1280x960 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| SXGA+ | 60 | 1400x1050 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| MAC13" | 67 | 640x480 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| MAC16" | 75 | 832x624 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| MAC19" | 75 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| | 60 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| MAC21" | 75 | 1152x870 | 1016x768 | 1024x768 | 1024x576 |

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

## コンポーネントビデオ

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4:3 | 16:9 |
| SDTV(480i) | 60 | 720x480 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(576i) | 50 | 720x576 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(480p) | 60 | 720x480 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(576p) | 50 | 720x576 | 1024x768 | 1024x576 |
| HDTV(720p) | 50/60 | 1280x720 | 1024x768 | 1024x576 |
| HDTV(1080i) | 50/60 | 1920x1080 | 1024x768 | 1024x576 |

## コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4:3 | 16:9 |
| TV(NTSC) | 60 | 720x480 | 1016x768 | 1024x576 |
| TV(PAL,SECAM) | 50 | 720x576 | 1016x768 | 1024x576 |

## HDMI入力端子からの入力信号(EB-X10のみ)

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4:3 | 16:9 |
| VGA | 60 | 640x480 | 1024x768 | 1024x576 |
| SVGA | 60 | 800x600 | 1024x768 | 1024x576 |
| XGA | 60 | 1024x768 | 1024x768 | 1024x576 |
| WXGA | 60 | 1280x800 | 1024x768 | 1024x576 |
| SXGA | 60 | 1280x960 | 1024x768 | 1024x576 |
| | 60 | 1280x1024 | 1024x768 | 1024x576 |
| SXGA+ | 60 | 1400x1050 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(480i) | 60 | 720x480 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(480p) | 60 | 720x480 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(576i) | 50 | 720x576 | 1024x768 | 1024x576 |
| SDTV(576p) | 50 | 720x576 | 1024x768 | 1024x576 |
| HDTV(720p) | 50/60 | 1280x720 | 1024x768 | 1024x576 |
| HDTV(1080i) | 50/60 | 1920x1080 | 1024x768 | 1024x576 |
| HDTV(1080p) | 50/60 | 1920x1080 | 1024x768 | 1024x576 |

# EB-S10の対応解像度表

## コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ノーマル | 4:3 | 16:9 |
| VGA | 60/72/75/85 | 640x480 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| SVGA | 56/60/72/75/85 | 800x600 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| XGA | 60/70/75/85 | 1024x768 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| WXGA | 60 | 1280x768 | 800x480 | 800x600 | 800x450 |
| | 60 | 1360x768 | 800x451 | 800x600 | 800x450 |
| | 60/75 | 1280x800 | 800x500 | 800x600 | 800x450 |
| WXGA+ | 60 | 1440x900 | 800x500 | 800x600 | 800x450 |
| SXGA | 70/75 | 1152x864 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| | 60 | 1280x1024 | 750x600 | 800x600 | 800x450 |
| | 60 | 1280x960 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| SXGA+ | 60 | 1400x1050 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| MAC13" | 67 | 640x480 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| MAC16" | 75 | 832x624 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| MAC19" | 75 | 1024x768 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| | 60 | 1024x768 | 800x600 | 800x600 | 800x450 |
| MAC21" | 75 | 1152x870 | 794x600 | 800x600 | 800x450 |

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

## コンポーネントビデオ

単位：ドット

| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4:3 | 16:9 |
| SDTV(480i) | 60 | 720x480 | 800x600 | 800x450 |
| SDTV(576i) | 50 | 720x576 | 800x600 | 800x450 |
| SDTV(480p) | 60 | 720x480 | 800x600 | 800x450 |
| SDTV(576p) | 50 | 720x576 | 800x600 | 800x450 |
| HDTV(720p) | 50/60 | 1280x720 | 800x600 | 800x450 |
| HDTV(1080i) | 50/60 | 1920x1080 | 800x600 | 800x450 |

## コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

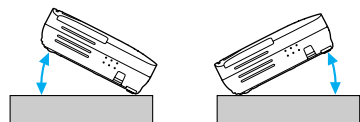
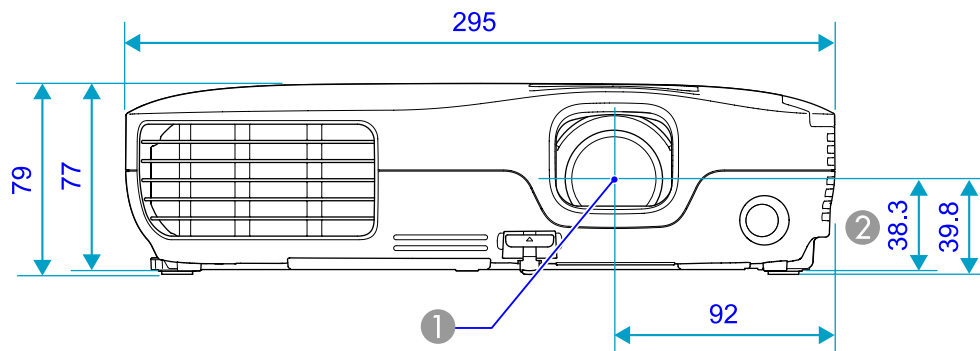
| 信号 | リフレッシュレート (Hz) | 解像度 | アスペクトモード | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4:3 | 16:9 |
| TV(NTSC) | 60 | 720x480 | 800x600 | 800x450 |
| TV(PAL,SECAM) | 50 | 720x576 | 800x600 | 800x450 |

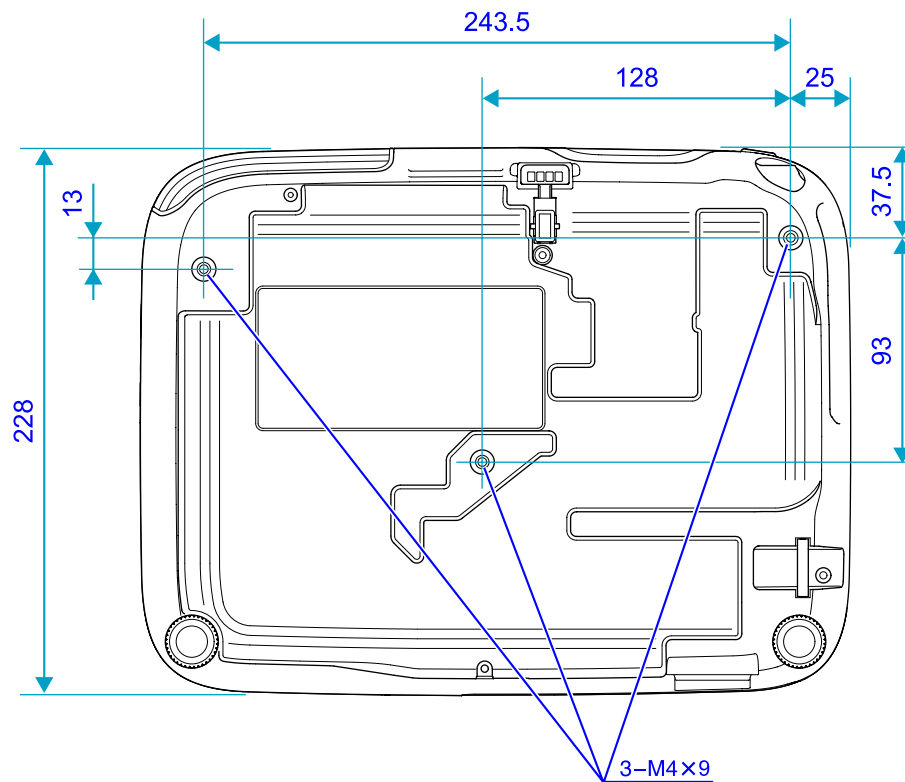
## 本機仕様

| 商品名 | | EB-W10 | EB-X10 | EB-S10 |
|---|---|---|---|---|
| 外形サイズ | | 幅295×高さ77×奥行き228㎜(突起部含まず) | | |
| パネルサイズ | | 0.59型ワイド | 0.55型 | |
| 表示方式 | | ポリシリコンTFTアクティブマトリクス | | |
| 画素数 | | 1,024,000個<br>WXGA(横1280×縦800ドット)×3 | 786,432個<br>XGA(横1024×縦768ドット)×3 | 480,000個<br>SVGA(横800×縦600ドット)×3 |
| フォーカス調整 | | 手動 | | |
| ズーム調整 | | 手動(1-1.2) | | デジタル(1-1.35) |
| ランプ | | UHEランプ　定格200W　型番：ELPLP58 | | |
| 音声最大出力 | | 1Wモノラル | | |
| スピーカー | | 1個 | | |
| 電源 | | 100-240V AC ±10% 50/60 Hz 3.2-1.4A | | |
| 消費電力 | 100-120Vエリア | 定格消費電力：280W<br>待機時消費電力(通信オン時)：2.6W<br>待機時消費電力(通信オフ時)：0.3W | | |
| | 220-240Vエリア | 定格消費電力：265W<br>待機時消費電力(通信オン時)：3.9W<br>待機時消費電力(通信オフ時)：0.4W | | |
| 動作高度 | | 標高　0～2286m | | |
| 動作温度範囲 | | +5～+35℃　(結露しないこと) | | |
| 保存温度範囲 | | -10～+60℃　(結露しないこと) | | |
| 質量 | | 約2.3kg | | |

| 商品名 | | | EB-W10 | EB-X10 | EB-S10 |
|---|---|---|---|---|---|
| 接続端子 | コンピューター入力端子 | 1系統 | ミニD-Sub　15pin(メス)青 | | |
| | ビデオ入力端子 | 1系統 | RCAピンジャック | | |
| | S-ビデオ入力端子 | 1系統 | ミニDIN　4pin | | |
| | 音声入力端子 | 1系統 | RCAピンジャックx2(L,R) | | ステレオミニピンジャック |
| | HDMI入力端子 | 1系統 | HDMI(音声はPCMにのみ対応) | | ー |
| | 音声出力端子 | 1系統 | ー | | ステレオミニピンジャック |
| | USB(TypeA)端子※1 | 1系統 | USBコネクター(Aタイプ) | | ー |
| | USB(TypeB)端子※2 | 1系統 | USBコネクター(Bタイプ) | | |

※1　USB1.1に対応しています。
※2　USB2.0に対応しています。
USB(TypeA)端子、USB(TypeB)端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度

30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

❶ レンズ中心

❷ レンズ中心から天吊固定部までの寸法

単位：mm

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

| | |
|---|---|
| HDTV | High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。<br>• 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査)<br>• 画面のアスペクト比は16:9 |
| HDCP | High-bandwidth Digital Content Protectionの略でHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。 |
| S-ビデオ | ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。<br>Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。 |
| SDTV | Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。 |
| sRGB | 各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。 |
| SVGA | IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。 |
| SXGA | IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。 |
| VGA | IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。 |
| XGA | IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。 |
| アスペクト比 | 画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4：3です。 |
| インターレース | 1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。 |
| コントラスト | 色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。 |
| コンポーネントビデオ | ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。<br>Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。 |
| コンポジットビデオ | ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。 |
| 同期 | コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。 |

| | |
|---|---|
| **トラッキング** | コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。 |
| **プログレッシブ** | 1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。 |
| **リフレッシュレート** | ディスプレーの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。 |

### ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

### 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

### 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

### 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

### JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system
Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Microsoft® Windows Vista® operating system
Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x
Mac OS X 10.4.x
Mac OS X 10.5.x
Mac OS X 10.6.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.9」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint、Windowsロゴは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc.の商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 HDMI™ HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

## 数字・アルファベット



## ア



## カ



## サ



## タ



## ナ